京城日報

本紙定價 壹部參錢 壹ヶ月七拾五錢（前金▲郵稅共）參ヶ月前金貳圓拾五錢 六ヶ月前金四圓廿錢 壹ヶ年同八圓拾錢（前金郵券代用二割增）
廣告料金 七號活字詰十五字一行八十錢 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 [illegible] 振替京城三〇〇番

七月十三日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇內心劍を藏して
獨逸對露政策＝某軍事通談

莫斯科駐剳獨逸大使ミルバッハの暗殺に關し獨逸の執るべき對露策如何に就き某軍事通は曰く獨逸の露骨なる對露政策にはミルバッハ自身も危險の身に迫らん事を慮り莫斯科には若干の護衛兵を置きたる位にて加害者は多分過激派に屬するものなるべし獨逸は自己の野望を達成せんが爲め露國に對し一貫せる態度を執らず鞏固なる露國政府の成立は自國に不利なりと確信し居れば過激派政府が基礎確立せんとするを喜ばず形勢は穩和派を煽動して過激派を覆へさんと計畫し居たり其時機に就ては目下收穫期も前へ控へ居る際なれば收穫期以後に於て穀物を得之を露國民に與へて恩を賣ると同時に一方獨逸國內にも過激派の革命思想に感染しレニン政府に好感を有し居るもの〻反感を避け徐にレニン政府を倒さん底意なりしが如し左ればミルバッハ大使の暗殺事件に關して直に之を口實に武力干涉を企てんとは考へられず獨逸從來の遣方に徵しムルマン方面の絕對封鎖を爲すべしとの觀測も行はれ居れど西部戰場に於ては米兵新に增加しつゝある折柄獨逸は兵力を西部に集中する必要こそあれ東部殊に芬蘭方面に增加する事は困難なる事情あり是を以て獨逸は露國に對し之を遂行する爲め條件を考察の上內心劍を藏して外面平心を裝ひ平和的に最も陰險なる手段を執るに至るべきか（門司特報）

◇チエック派とホルワット派

滿洲里通路は黑龍州經由路に比しチェック隊のため便利多きも未だ東淸鐵道に對し交涉を開始するに至らずチェック隊幹部はホルワット、セミヨノフ等と關係するを避けんとする方針なるが如くカルイムコフ軍はニコリスクに於てチエック隊に合せんと乞ひしもウスリー地方民の同軍に對する反對强き爲チェック隊は同軍に對しニコリスク西の八十露里以東に入るを禁ずと（浦鹽電報）

◇過激派勢力一掃

チエリヤビング以東イルクック迄の各都市は今や全く秩序を恢復し列車運轉も復舊せりブラゴエチエンスクにては過激派に對して既にハバラフ枝隊の戰鬪開始せられたりイルクックの過激派の勢力はチエック、スラヴアクに一掃せられ將校團（白衞軍）と共に市街を占領せられ今や同市は一城砦として準備されつゝあり尚イ市より東サバイカル過激派の爲に追擊されたる獨逸俘虜は一大枝隊を編成中なり（哈爾賓電報）

◇守備隊增派通告

北京政府は東淸鐵道沿線守備司令官陶將軍に對し國境守備の爲ホルグラニチオナ方面に更に三個聯隊を派遣すべしと通告し來れりと因に陶司令官は沿線支那軍總司令官の職にあるも一々孟吉林將軍の命を仰がざれば重要事件を單獨に處置する能はず且つ其權限も吉林省內東淸沿線に及ぶのみにて黑龍江省たる滿洲里支那守備軍を指揮するを得ず其職名相當の權力を有せざるなり（哈爾賓電報）

◇商船護送問題
前英下院議員ジ氏の聲明

前英國下院議員にして海事通なるジブソンボールズ氏はタイムス紙に一書を寄せ和蘭商船護送に關する讓步は千九百九年の倫敦宣言の旨に背るものなりとて之を非難し聯合軍側はとに同意なるや否や又若し不同意なるに於ては被護衛商船は日米軍艦より臨檢搜索を受くべく且つ獨逸にして攻擊免除を（斯くの如きは如何なる戰爭においても未だ曾て中立國船の享受せざる特權なり）保障せざる限り獨逸潜水艇も亦攻擊を行ふべしと言へりタイムスは社說に於て右商船護送問題に關する外務省の公表を以て屈辱的にして且つその意を解し難しとなし英國政府は今後同政府自身に取り不利益に引用せらるべき先例を造れるものと言へり（倫敦電報）

◇獨逸食料輕減

アムステルダム來電伯林來報による馬鈴薯の定食量は一週一封度に減ぜられたりと（倫敦電報）

◇銀行併合協約

滿洲商業銀行は奉天南滿銀行を併合すべく協議進捗中なりしが此程愈々假協約を締結し十二日午前四時より大株主會を開き協議の經過を報告すると共に廿八日の總會に於る下相談を爲せり（安東特電）

◇軍司令官去來

十四日來新の筈なりし松川軍司令官一行は豫定を變更して十一日鍾城より鴨綠江を下りて來新十二日守備隊を檢閱したる後各方面を視察し十三日午前八時四十分平壤に向ふ筈（安東特電）

◎滿蒙經營策
意義ある計劃

滿蒙經營に就ては今も最も意義ある新計劃を立つべき時代となれり從來は何事にまれ唯槪括的の計劃と意氣抱負等により事物を處理し來り且つ成功は容易なるかの如く思はれ居たるが滿蒙の事業も次第に其の緒に就き來りて秩序と組織を要する次第となり總ての上に綿密なる調査と研究を要する時代となれり殊に今後の諸事業は製鐵其他植林等總て國家的に意義ある計劃を立て、之を經營せざる可からず唯漠然と利を貪り彼の阿片モルヒネ乃至無責任なる會社濫興の如き孰れも之を愼むべきことなり彼の獨逸の如き英國の如き本國は孰れも大ならず僅に日本と伯仲するのみにして其の人口も却つて我國の方多き位なり然るにも拘らず海外植民地經營に成功して今日の强大を致せし獨逸の如きは開戰以來總ての植民地を沒收せられ其の交通を杜絕せしめられたるに拘らず且つ今日の本國のみの實力を以て尚且つ今日の實力を發揮せり滿蒙の面積の大なることは我本國以上にして此處に意義ある計劃を立て進むは日支兩國民の福利を增進し日支の利害關係を共同にして共に東洋平和の基礎を確立する事を得べし鞍山站の製鐵事業の如き皆其の意義より來れるものにして獨り日本の利益にあらず又實に支那の和を保障し其の福利を增進する上に如何程の利益あるか測り知る可らざるものあり元來支那人と日本人中往々にして之を誤解し日支接近の大勢を防ぎ或は新事業計畫を妨害せんとするが如き皆其の原因は感情の行き違ひにあり之に就いては日支兩國民に夫々責任あることなれば宜しく双方顧みて互に感情の訓練をなし先づ吾々日本人の方より態度を大にして總ての好感を以て支那人に接せざる可からず而して無責任の事業を止め殊に日支合辦事業は總て意義ある有益なるものたらしめ一層融合せば必ず兩國の福利を增進せずんば已まざる底の者たらしめん事を冀ふ（某支那通談）

◎總監金剛山視察

山縣政務總監は往復五日間の豫定を以て入見鐵道局長遠藤秘書官等を隨へ金剛山視察の途に上るべきが同地方は目下降雨あり出發期日未定なるも天候次第出發の筈

◎民事令及民籍法改正調查

目下法制局に於て研究中の民事令及び民籍法改正調查の件は主查員に於て之が腹案を作製し主查委員會の審查を經て更に起案しつゝあれば遲くも本月末には調查委員會を開き審議の上成案を得るに至る可く本年內には調查委員の手を離れて法制局に綱附の運びとなる可く改正法の施行は大正八年六月頃となる可し

◎南水鐵道工事
八月より起工

南大門驛及び京義線水色驛間三哩半の直通鐵道線路敷設に關しては豫て鐵道局にて之が設計書を鐵道局に提出決裁を求めつゝありしが近く之が決定を見る可く愈々來月より起工の事となれるが竣工は大正九年七八月の交となる可しと

◎東洋畜產興業會社企畫
東拓の娘會社

東洋拓殖の川上理事、永登浦皮革の賀田社長等を中心とし京城の本商議副會頭韓相龍（漢銀專務）白完爀諸氏鎭南浦の富田儀作元山の吉田秀次郎釜山の大池忠助その他各地の有力實業家を發起人とする東洋畜產興業株式會社の企劃生れ近く當局に出願する手筈となり居れり計畫の內容は未だ詳報の時期に達せざるも仄聞する所によれば資本總額は二百萬圓五十圓株四萬株に分割すべく右の中東洋拓殖會社の引受け株は一萬株にして三萬株を一般に募集する豫定なれど

▲多分發起人 並に賛成者の持株にて滿株となるべく公募をなすには至らざるべし又營業の科目は第一期事業として差當り（一）畜牛の預託（二）耕牛の貸附（三）牛皮牛骨牛肉の賣買並に輸移出（四）右他に關する附帶事業七他畜牛以外家畜又は毛皮獸毛皮獸脂等の賣買及び輸移出をなし更に事業の進捗に伴ひ第二期事業として飼料及び動物化學工業牧畜の經營をもなすべく本店は之れを京城に置き滿鮮及び內地必要の地に支店又は出張所を設くべし

▲東拓の關係 東洋拓殖會社にては前記の如く四分の一五十萬圓（全額拂込濟）の株式を引受くる事となり居れるが東拓の出資は資金に非ず畜牛の提供にて該提供さるべき畜牛が東洋畜產興業の事業の基礎となり居れり東拓所有の畜牛はその殖產擴設として明治四十三年以來資力薄弱なる小作人並に移民に土地の利用を增進せしめ併せて畜牛の蕃殖を圖らんため貸附をなし來れるものにて現在一萬三千餘頭に達し居れるが新會社設立營業開始までには一萬五千頭以上に達せしむべく全部原價を以て新會社に引繼がんとするにあり第一回拂込みは

▲東拓の一萬株 全額拂込みは別とし他の三萬株は四分の一拂込みとなる由尚ほ會社の營業成績は花々しき結果を擧げ難きも初期より九分乃至一割の配當は確實なる見込にて要するに新會社を起し新に事業を經營するものと異なり既に基礎鞏固なる東拓所有畜牛によるものに付是等の點に於ては極めて安全ならん

▲東畜設立協議

設立に關し東洋畜產興業會社は目下發起人中の東拓川上理事歸京後一進する豫定なるが二十三日も釘本藤次郎賀田直治足立丈治郎の諸氏東拓に參集諸種の協議をなしたり

◎朝鮮藥劑師試驗

朝鮮總督府藥劑師試驗は來る十月十日より京城に於て施行のこと〻なれるが志願者は九月三十日迄に願書履歷書及寫眞を添へ警察署長の身分證明書に最近撮影に係る手札形寫眞を添へ總督府警務總監部に提出すべし其他詳細は藥劑師試驗規則に依るべく又入用の向は郵券二錢封入警務總監部衞生課に申込むべし

殖銀設立彙報
凄しい應募

內地に於ける殖產銀行株式の應募狀況は每三報ぜらる、如く非常の景氣らしいが大阪の株式申込を引受けてゐる某

▲有力現物團 の一商店による一店だけで公募株數の百倍に達する見込みとあつたさうであるさうも殖產銀行の內容が知れ渡り好評嘖々と云ふ事になつたのや素晴らしい景氣を生んでゐるやうだ朝鮮銀行の株式公募の際は三百倍に達したと云ふ殖產銀行は鮮銀程の資勢は行つまいがそれに近い程の銀行であるのと內地の財界が鮮銀株公募時代とは一變してゐるのでその申込みの旺盛だらうと云ふ事は初めから期待されてはゐたが何百倍と云ふやうな事にならうと云ふ豫想は何人にもついてゐなかつた樣である、然し大阪の一店だけで

▲百倍の申込 みを受理すると云つた所でそれが全部銀行の前途を有望なりと見込み投資したといふのではなく仲には殊に一口で何十何萬と申込むものゝ內には申込證據金に要する金利と殖產銀行株のプレミヤムを比較し投機的のものが餘程あるだらう先づ銀行が成立すれば七分配當の保證はついてゐるし最低五圓以上のプレミヤムはつくものと見てゐるらしい此傾向のよしあしは別とし唯大體から云へば申込みが非常に超過する事は景氣のよい點に於て結構だが吾人は按分割當てと云ふ事になつてゐるので折角堅實な株主たらんとする何十株若くば何百株の申込者は極めて少數の割當て若くば全く切り捨てらるゝ事となるを遺憾とせざるを得ぬやうである（某氏談）

◎忠南道水害
足立東拓殖產課長談

忠南方面に出張中なりし足立東拓殖產課長は十一日夜歸京せしがその談に曰く平澤鳥致院方面の道路に受けし水害は堤防破壞等に基づく水田の埋沒並に麥の刈取遲れの分に對し甚だしきものあるが然もその被害は局部的に付全體の農作を悲觀する必要はなきに似たり忠淸南道當局は水田の被害を先づ一パーセント乃至百分の一位ならんと語りゐたるが恐らくその邊なるべし尚は水田の埋沒せし個所は此際稻苗を求めて移植する事は困難に付菜等の栽培をなす外なからんと思はる

◎京城商況沈靜

京城商業會議所の調査に係る客月中の京城商況を聞くに米穀は前月以來內地相場の奔騰に因り依然高値を持續し合格玄米普通二十三圓四五十錢見當を唱へたるも在荷薄又は先高見越の爲め移出口の取引捗々しからず大豆は滿洲安に押されて氣配引らず稍低落の傾向を呈し平均相場十四圓二十七錢より十四圓八十三錢の間を往來し取引極めて閑散なりき輸移入品の大宗たる綿絲布は內地相場の恢復に連れて稍强氣配となり和金巾（三Ａ印）二百九十三圓五十錢綿絲（單十手）百五十八圓同（單十六手）百七十六圓の平均相場を示したるも目先相場の豫想氣迷ひに因り一般に仕入を手控へしめ牛皮は露國向きの輸出杜絕と時節柄材料薄の爲殆んど動きを見ず其他の物資も夏時閑散季に屬すること〻て移動少く大體に於て商況沈靜の裡に越月せり今京城稅關出張所の取扱ひに係る當月中の貿易額を見るに輸移出品價二十四萬八千七百圓輸移入品價二百六十萬二千四十三圓合計二百八十四萬二千百三十圓にして之を前月に比較すれば輸移出に於て六萬七千四百二圓輸移入に於て二萬七千七百四十七圓を各增加せり而して更に之を前年同期に比較する時は輸移出に於て十四萬二千五百五十一圓輸移入に於て百八萬一千六百三十八圓を孰も增進せりと

◎仁川解合未し

仁川米豆取引所解合委員たる仲買者五名局外者三名都合八名にて十日決定したる當中先三限の賣買總解合値段に對しては賣買何れの方共不服を唱ふるもの多く未だ成立せざるが委員側にては最善の方法による

◇張赦免と陸榮廷

張勳氏は密使を陸榮廷氏の許に遣りて自己の特赦問題につき贊成を求めたるが陸氏は曾て張氏と共に蘇元春の部下たりし舊誼あり敢て反對を唱へざるも現在の位置として積極的に段內閣に對し張氏の爲に運動する能はず追つて時機を待つて提議するも遲からざるべしと慰撫し且密使に對し余は個人として何等の野心も慾望もなく勿論大總統又は副總統となることを希はず然れども北方にして余に無條件降伏を强ふるも斷じて之に應ずる能はず北方が余の地盤を顚覆することの容易ならざるは恰も南方が北方の根據を全滅する能はざると同じと暗に北方が相當の禮を以て妥協の態度に出でざるを咎むるが如き口吻を洩せりと（北京電報）

◇奉天募兵成績

兩廣巡閱使よりの申込に依る山東及び奉天にての募兵は張奉天督軍の盡力に依り今日迄約三百五十名の應募を見たるが奉天省に於ける募兵人員は約六千名なりと（奉天電報）

◆京畿管內の利源と企業（下）

▲振威郡 過去產業の衰滅に歸せるものなく現在の產業としては陶器の一萬五千四百個三千三百餘圓莚叺網の九十三萬餘貫十六萬七千餘圓等を其の主なるものとするも郡には特產物の擧ぐべきものなく純農作物以外には僅に前記の數種を數ふるのみ米穀は數年來改良を奬勵し產額も亦大いに增加し六年度の如き產額十二萬石に上れり副業としては養蠶及び藁細工製造を奬勵し近來奬勵の結果漸次發達の機運に向ひつゝあり將來奬勵すべき事業は農事の改良、畜產、養蠶、藁細工等なり

▲始興郡 現在の產業狀態は米の六萬一千餘石八十萬圓麥の一萬千餘石十一萬七千餘圓同粟の三十一萬二千餘貫三萬七千餘圓蘆葦の六十五萬三千餘貫十萬一千餘圓素燒土管の七萬餘個土管の十四萬五千個煉瓦の二百四十萬個三萬一千餘圓瓦の百二萬二千枚三萬三千餘圓製革の五十二萬五千餘貫二百三十六萬六千餘圓洋靴の二十七萬七千餘足二百二十六萬九千餘圓等を其主なるものとす前記特產物の取引慣習には著しき特例なきも米は玄米にて取引さる、事柄にして糶れ籾にて取引さるゝ事は著しく、唯生產者各自の任意販賣に委ぬる時は諸種の弊害を作び斯業の發展を阻害する事尠からざるを以て大正二年以來共同販賣に付する方法を採り居れり目下新に企業すべき產業あるを認めず唯現存產業の改善向上を圖り以て農產地として健全なる發達を期せんとす即ち將來最も奬勵を加ふべきもの下の如し（一）水稻は作付面積六千七百七十三町內改良種作付は反別千八百三十町にして全體の二割五分に過ぎざれど將來改良種を以て漸次之等に改良種を普及せしめ大正十年には收穫七萬七千石以上に達し得る豫定なり（二）大豆は種子の精選肥培及び調製方法の改善を必要とす（三）養蠶は農家の副業として最も奬勵を加ふべきものなり大正六年に於ける產繭三百十石價格二萬餘圓に上り其の有利なる事漸く一般に知られ斯業發展の上に大なる便を得たり郡は一方桑苗の植栽を奬勵すると共に益々養蠶を普及せしめ大正十年には飼育戶數千百一、掃立枚數三千二百五十四、收繭量七百四十四石に達せしむる計畫成り居れり

▲龍仁郡 過去產業の衰滅に歸せるものなく現在の產業狀態は米の九萬四千石百七十八萬六千圓麥の一萬七千石十一萬九千圓豆の二萬一千餘石二十一萬三千圓煙草の十二萬貫十一萬四千餘圓を主なるものとす葉煙草及繭は組合ありて品質により等級を定め共同販賣に付せり之等の產業は何れも組合又は同業者が郡の指導監督の下に產額の增加並に品質の改善に努めつゝあるを以て今後數年を出でずして米麥豆の類は改良種の普及を見額亦三割乃至四割を增加すべく繭、煙草、莚、叺等も現在に倍する增收を見るに至るべしと

◎東拓の肥料貸附

東拓にては全南に於ける農事を根本的に改良する助長策として大豆粕、過燐酸石灰等の肥料を同社の小作人たると否とを問はず一般に貸附するに決せるやにて一反歩大豆粕一枚半の豫定を以て本年は三四十萬圓を限度とし全南地主會の共助に依り近く實行すべしと云へば同道の農事は爲に面目を一新するに至るべし

◎棉實散逸防止法

全南道にては過般管內各郡に對し棉實の散逸を防止すべく通牒するところありたるが更に其の內容に就き聞くところに依れば同道の本年產棉實總額二千三百萬斤の內農民の播種用及び繰綿工場に廻着するものの二千四十萬斤差引約三百萬斤は厚薄其他の爲め空しく散逸し居る斤三圓五十錢とするも實に十萬圓餘の巨額に達す而も木浦に設立されたる製油會社に於ては年額二千萬斤以上を消費する豫定なるを以て棉種子の需要は前途愈々多く此の際各郡に於ては之が散逸防止に關し適當の方法を講じ八月十五日迄に其の施設內容を道廳に報告せしむること〻なり居れり

◎有松長官日程

有松拓殖局長官は園田書記官を隨へ歎原參事官の東道にて十三日午前七時京城發列車にて元山に向け出發したるが元山着後十七日迄確定したる日程左の如し

▲十三日午後一時五十分元山着▲十四日午前七時元山發午前九時十分永興着同九時四十分永興發午後六時五十分京城着▲十五日午前六時二十五分京城發同七時五十八分水原着同九時四十六分水原發午後五時二十分群山着▲十六日午前七時二十分群山發午後四時五十五分木浦着▲十七日午前七時二十分木浦發午後三時五十二分大田着

◎鈴木間島領事

間島領事鈴木要太郎氏は過般要務を帶び東上のところ此程歸任の途次入京し朝鮮ホテルに投宿中なりしが十三日朝出發元山を經て歸任せり

◎松永長官視察

松永京畿道長官は田中道技手を隨へ十三日朝京城發加平郡治狀況視察の爲め出張せるが十四日歸任の筈

◎東京營業案內所廢止

東京市芝區櫻田本鄕町京管局設置に係る東京營業案內所は本月一日之を廢し同時に右事務は麴町區丸の內東京支社に於て取扱ふこと〻なりたり

逸無佛老居士東歸次韻　伽羅窟鳩仙和南
去々來々奚復疑。三五五位說隨時。佛國吞了上乘否。相逢禪心自驅馳。
明々了々絕凝疑。無佛本來能識時。把住放行四十年。偉動留得向東馳。

送無佛居士　松寺竹雄
君去るや八道の山河五月雨る〻

車中口吟　牛田大辭
飄然萬里作吟笻。踏破金剛雲幾重。堪喜老來雙脚手。翠峰一萬二千峰。

寄友左箕城（米喰會席上限韻）　小島九皐
大同江上落花浮。乙密臺邊芳草稠。借問箕城吟嘯客。夢魂時到浿陽不。
學鷗曰、落花芳草、神情綿邈、

同　內田六圃
萬入大同江水流。萬株煙柳曳情悠。綾羅洲畔憶曾遊。
學鷗曰、撰情寫景、淸秀可欣、眞是瀟洒有聲者。

同　大田水鈴
春色濛都花帶羞。柳城遙望暗悠悠。同遊久背千山路。煙雨瀟瀟芳草祠。
學鷗曰、起承奇艶。

同　竹田蕉雨
十里長江春色流。棹歌潮落夕陽收。憶君佇影對斜月。低唱倚欄浮碧樓。
學鷗曰、情韻流美。

同　藤蔭
事與心違是宦遊。花前月夕奈吟酬。大同江畔春應好。魂夢飛登浮碧樓。
學鷗曰、運意自在。

同　成田魯石
笳記卿都落拓遊。千金一笑大江流。淡烟吟嘯弄春色。乙密行樂浮碧樓。
學鷗曰、新荷淸婉、饒有風味、第二句最妙。

北海道より（二十二）
天民生

過去十年間に於ける北海道移住者の府縣別を調べて見ると、宮城、富山、新潟、青森、秋田、石川、福島等が最も多く、其の他の府縣之に次ぎ土地の有力者の多くも東北の人が槪して優勝を占めてゐる。朝鮮では反對である。又北海道より歸る者の數を見ると、東京府が最も多く、青森、秋田、新潟之に次ぐ。其の原因は前者は一時の來住者多く、後者は海里に近き關係であらう。今や北海道の天地は深綠を以て充されて居る。野には丈にも餘る草が生ひ、山にはトド松、エゾ松、落葉松、樺、イタヤ、ナラ其の他樣々の針葉樹、濶葉樹が茫々と繁茂して、斧鉞未だ入らざる原始林もある。室に入るは何處となく幽昧である、人の顏も幾分蒼色を帶ぶる樣に見ゆる。僕は北海道に於て始めて大なる深綠の美を認むることが出來た

人事消息

▲鈴木伍三郎氏（京城覆審法院部長）十二日夜釜山より歸任
▲東乘眞十 十三日午前十一時總督府に出頭政務總監と面會時事を懇談辭去
▲小池左右吉氏（新潟縣築港課長）十三日朝平壤へ

茶前酒後

◎浦鹽に於ける聯合各國兵の共同防禦は即ち各國共同出兵とも見
◎之れ西伯利に於ける聯合軍事的施設の第一步を印せる者意味深長
◎獨飛行機既に滿洲の大空に飛將に浦鹽市上にも來襲すべしと云ふ
◎若夫れが實現せば出兵非出兵も一飛行機の唸り聲にて解決すべし
◎露國帝制復興の女傑現はれて日本に逃け來る宛然平家の末路に彷彿
◎寧ろ渡米を斷念して嵯峨野に隱れよ歷史は遂に汝を棄てざるべし
◎嗚呼嗚呼を諦めし隱侯赤十字の昨今を思ふ此長廣舌を飛行界に注け
◎東京の一富豪飛行協會の招待に缺席不參の挨拶として一萬圓寄附
◎最も要領を得たるもの也無言の雄辯に勝る蓋し此類か諸富豪見習
◎日本の飛行界も他を羨み或は他を恐るゝ時代に非ず極力實行の時也
◎九州宣職事件の判決は中元贈答期に入りて大に物の役に立つ樣也
◎贈玉の少さき連中の人の知ざる苦勞あるが如し贈答虛禮も亦難哉
◎物價騰貴を困みつゝ流行物は依然として盛也日何日何殊に女物多
◎化粧と流行物は女に無てはならぬ者也二千年前の女も今も同樣也
◎中元贈答品も考へ物也與樣の御機嫌を取流行物の贈答は何處も同
◎行爲に依て人格の現る、は掩へからざる事實也贈答にも實用を選
◎鐵道院にては公德心涵養の爲乘客の醜態を活動寫眞に撮影すと云
◎結構千萬なるも此の樣に不通多ては乘客の迷惑も甚し鐵道の考は
◎迷惑は頃日の通信故障程迷惑なるは無し報が步て來はやり切れす

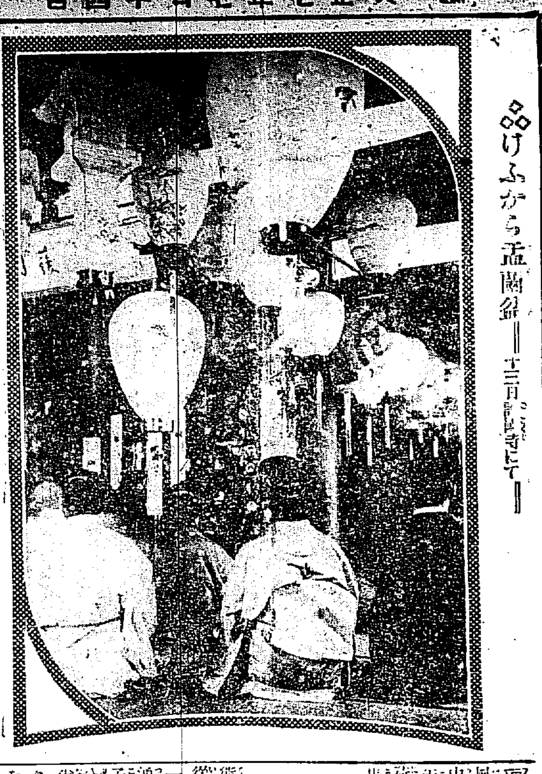
廣告料金改正

來ル七月十六日ヨリ五號活字十五字詰ニテ
定價金壹圓也ニ改正仕候
改正後ハ總テ行數ハ五號活字ヲ標準トシテ計算致ス可ク候也
大正七年七月十一日
朝鮮新聞社
京城日報社

時間表

大正七年七月一日改正現行

[illegible]



◎けふから盂蘭盆 ―三光寺にて―

◎持越にも税を附ける
改正スタンプの無いのは脱税品 ―煙草値上げに就ての注意―

◇違反して處罰されぬ樣に卸小賣商は特に注意せよ

八月一日より改正煙草税令施行せらるゝに就き京城府税務係にては五日東亞煙草、朝鮮煙草、東西煙草、東光社、廣成商會、朝日商會、商志商會の府内七同業者を召集し税令改正に關する

◆注意 及諸種の打合せを爲したるが値上問題に就ては其後協定中なるも馬詰東亞支店長東上不在等の爲未だ決定するに至らず十五日頃迄には協定を見るべく只朝日の七錢か八錢が問題なるべし又現在持越煙草に對しては現在課税の外百分の十五の税は小賣商人負擔せざるべからず

◆値上 に對する二割五分の税は製造者に於て負擔せざるべからざる賦課の部分は小賣の負擔を要するを以て全部製造所に引上ぐべき計畫にて八月一日市内三箇所位場所を定め持越品全部に對し改正定價のスタンプを押捺し該スタンプ無き商品は脱税品として嚴重に

◆處分 すべければ市内二千百九十六人の卸小賣り商人は此の點最も留意を要すべく而して之が煩を避ん爲には現在持越品を期間迄に全部賣捌くこと在り各製造所に於ても目下市中に出だすを中止し居れる有樣なりと

內地各地風水害と朝鮮

▼連絡船にて徳山まで 山陽線不通續報

連日豪雨の爲め山陽線厚狹川大道間汽車不通となり下關より東上の旅客は關釜連絡船櫻丸にて徳山迄聯絡を取り同船は十二日午前十時下關發朝鮮方面及び九州方面より東上の客を滿載し徳山に向ひたるが尚ほ乘船洩れの者もあり停車場は混雜を爲しつゝあり(門司特電)

▼關釜間連絡 一回缺航 山陽線復舊迄 九州本土間 連絡杜絶す

關門地方暴風雨の爲十一日午後六時釜山出帆の關釜連絡船は定刻より二時間遲延し午前九時下關へ着せるが山陽線道大徳山間の汽車不通の爲め別項の如く關釜連絡船壹岐丸を以て海路徳山迄の連絡を取る事と爲り是が爲め山陽線の復舊を見る迄は關釜間連絡下關着午前八時及び下關發午前十時出帆の同航路便は當分缺航する事と爲れり二時半徳山へ着し午後四時半再び徳山を發し下關へ著し徳山下關間の連絡を取る事と爲りたるが徳山以東岡山附近に於ても線路の故障を生じ居れる模樣なれば同驛以東へ至らんとする旅客は同驛へ待合せざる可からず尚九州本土間を連絡する鐵道は十三日午後に至り杜絶したり(門司特電)

▽大阪間電話不通

九州線も被害の爲め少からず大阪關門間及び福岡大阪間電話不通となれり(門司特電)

◎風浪高く 一船缺航

二時間遲れて入港した昨日夜來の風益々高く船體尺を進ぜぬ有樣で居なかつたらむ…航くまでの難航であらうとは思つて…つて三百有餘の乘客は何れも生…に落込むと云ふ有樣で苦しい中に…きたる心地もせず浪の破ける度毎…も海の猖獗が甚しかれた相である

▽豊州線破壞 復舊容易ならず

十一日夜來の豪雨にて豐州線の被害甚だしく大分縣幸崎驛は浸水の爲め構內二尺餘浸水し同驛及び下の江間土砂崩壞して線路破損せり又日出驛附近線路破壞列車通ぜず大分大罰間數箇所の破損埋沒あり復舊容易ならず同地大野川に架設しある橋梁流失せり

▽貨物車脱線

福岡縣住田網吉間線路決潰進行中の貨物車脱線し應援列車急行して救助せり

▽不通の電信線 電話全く杜絶

降雨被害のため岡山廣島間の電信電話に故障を生じたるものか十一日午前九時頃より岡山以東の電信は東京福岡線、大阪佐賀線、大阪長崎線、横濱長崎線、三の宮佐世保線、東京下關線、大阪鹿兒島線、神戸福岡線共不通となり山口瀧野川は東京長崎線四線、東京佐世保線、東京京城線、大阪下關線、廣島長崎線も全く不通となりたるが神戸大阪東京間は午後五時より他線と結合して僅に通信をなすを得たりしが電話は岡山以東は全部不通となりたる結果一般通信上に少からず不便を感じたり電話不通と聞くや何れも電報にて所用を達さんとせしより郵便局には電報堆積し居りたり(門司特電)

▽電報を郵送す 回復見込立たず

連日山陽山陰兩道に於ける豪雨被害は近年稀有のものらしく東京京城線大阪京城線元山松江線恐くは十二日午前四時以來不通の狀態にあり而して十三日正午までの所電線回復の見込み立たざるに付遞信局にては十二日來京城停滯電報を下の關汽車送りを行ひつゝあり尚ほ下の關より東行の郵便物は便船にて下の關より遞送する事となりたる旨通知ありたりと

▽對馬丸連航取消

海上風波の爲途中より引返し釜山假泊中の關釜連絡船對馬丸は同十二日午後も出帆見込なきに依り旅客手荷物は同夜出帆の高麗丸に移し對馬丸は十三日朝出帆せり

◎名門の少女 拳銃自殺

熊本縣士族の舊藩主細川立興氏の從弟細川行雅氏令孃雪子(十三)は十一日午前拳銃を以て自ら頭部を貫通して死去せり原因不明なるが雪子は至つて聰明の質なる由にて多分家庭の事情に依るものならんと同行雅氏は曾て津輕家の養子と成り雪子を設けて後離緣となり雪子を連子として歸り來りしものなりと(門司特電)

◎癲癇の本夫を殺したか 死體發掘取調

山口縣大津郡深川村字瀧本農中本初右衛門(四三)は妻もよ(三〇)と長女ふみ(一〇)の三人暮しなるが同人は十四五歳頃より癲癇症に罹り十年位以前より精神に異狀を呈するに至り時々發作して家人を困らす事ありしが同家には昨年春頃より同阿武郡町堀內の石工小林[illegible]三郎なる者を同居せしめ居たるに何時しかもよと[illegible]三郎は姦通するに至り本夫其所退けの不埒を働き居る內一時鎭靜し居たる初右衛門は去る六月初めより又々發作して亂暴を働くより[illegible]三郎が荒繩で縛り自宅の柱へ緊りつけ居る中に本月一日遂に死亡したるより癲癇と云ふことにて埋葬されしも死因に怪しむべき點あるを發覺したる深川署にては[illegible]三郎を引致すると共に死體を發掘し解剖に附することとなれり(下關電話)

◎忠南豪雨被害

九日以來の豪雨にて忠南洪城郡にては各河川增水し絶頂面青光里にて倒壞家屋一戸あり十一歳と八歳の朝鮮人男兒壓死し居るを發見せり洪城より各地への道路は橋梁破損の爲め一時交通杜絶せしが十日午後より人の往來には差支なき迄復舊せり

▲溺死者三名 瑞山郡にては各河川八尺位增水電信電話不通なりしが十一日より復舊せり瑞非面に於て朝鮮人の溺死者三名あり溫泉里天安間及び禮山間は十一日迄交通不能目下工事中公州にては十一日朝錦江十四尺三寸の增水公州橋は水に浸され渡船を以て對岸と往來し居れり

◎囚人が囚人を殺す
鎭南浦分監の怪事件 同性の戀の結果と云ふ說あり
加害者曰く『血を啜る蚰蜒だから殺した』

十日鎭南浦分監に於て同房內の囚人が囚人を殺害したる事件あり被害者は強盗十年囚江東郡東津面多田里生れ金大俊(二七)と云へる者にて官給の白ハンカチにて頭部を絞られて疊席の上に横たはり居たるより大騷ぎとなり檢事局より岡本檢事、堤書記、監獄醫等直ちに現場に臨み取調の結果加害者は同房內強盗十二年の劉昌必なることを判明せるが

◆自白 により判明せるが其原因については確然たる事を申さず『唯金大俊は蜘蛛でありまして毎夜私の身體に這上り私の首筋に食付いて血を吸取りますから殺しましたので私の處に居ります』など取り留もなき事を口走るのみなるより流石の檢事も持て餘し居れるが彼等は往々にして同性の戀に醉ひ痴れる事あり之より延いて意外なる問題を惹起したる例も少からざれば或は此

◆犯行 も此種の類にあらざるかと云ふ者あり死骸は直ちに解剖に附し尚引續き取調中なるが加害者劉昌必は此頃肺ヂストマにて病監に收容され被害者の金大俊はカタルにて何れも同房に收容され居たるものなりと

◎京城府內の不動産調べ 誰が一番か

昨今の土地時價は地價と大差なかるべく家屋は三階建百圓二階家八十圓平家五十圓朝鮮家屋二十圓に見積り京城府內に於ける不動産調査を爲したるに三好和三郎氏の五十四萬九千圓を筆頭に中村再造、譚傑生、森勝次の諸氏之に亞げるが之に動産を加算すれば全財産となる可く今十萬圓以上を擧ぐれば左の如し(七年四月一日現在)

金額	氏名
五四九、四五九圓	三好和三郎
二八三、七七二	中村再造
二七八、三四一	譚傑生
二四七、一〇〇	森勝次
二三六、六七六	秋吉富太郎
二〇六、六〇六	宋秉畯
一八四、六〇七	梶原末太郎
一七四、三〇五	釘本藤次郎
一五六、七二一	李容汶
一四七、五三六	秀島勵
一四〇、三一六	關繁太郎
一四〇、一五六	杉山孝平
一二五、七五〇	田村義次郎
一二五、六五五	尹澤榮
一二五、五三八	和田常市
一二三、一四〇	朴寅浩
一〇七、二九二	城六太

◎發動船坐礁

十一日午後一時半元山を發して江原道長箭に向け航行中の石油發動機帆船慶北丸は同夜十二時頃通川郡鶴二面叢石亭附近の沿岸にて濃霧の爲め陸地より五十間ばかりの淺瀬に坐礁し引卸しに努めしも及ばず遂に海岸の砂原に吹き上げられしが乘客十名及び乘組員七名共異狀なく積荷及び船體にも損害少き見込なる旨江原道警務部より警務總監部に報告ありたり

◎不正漁夫逮捕

廣島縣生れ金平佐一郎(三二)福岡縣生れ田中貞雄(三二)の兩名は不正漁業の親分石田芳松に雇はれ本年四月以降慶北沿岸にて爆藥を投じて不正漁業をなし此程迎日にて兩名共逮捕さる

◎危險い女の獨旅
◇夏はこの種の ◇犯罪が多い

四季を通じて多い犯罪は窃盗、詐欺などであるが夏季殊に多いのは女を背景とした猥褻な犯行である是に就いて京城の某警察官は語る夏は概して婦人の外出することが多く爲めに良からぬ前者にも

◇…乘じ易いのが一つ

◇…誘惑さる、機會が一つの原因となつてゐる、元來寒氣の嚴しい朝鮮では冬季三四箇月の間は室內に引込み勝ちで寢衣の如き重苦しい綿入物に身を包み已むを得ぬ外出の時でも防寒具を以て身を堅めて居るから外部から害を享くることが極めて稀であるが反對に夏は極めて身輕に而も

◇…輕快なケバケバしい浴衣や單衣等で夜更け迄散步したり用達しに出歩いたりすることが普通で是等を附け覘ふ不敵な曲物もあるやうなもので、內地でも同樣だが一體に斯うした犯罪者は夏に多い、又醜業を働く女も夏の方に多いのは事實である、夫れと共に最も注意すべきは若い女の獨旅である、強ち夏ばかりに誘惑さるゝ事でもないが、此の頃釜山京城間の列車中で或る官吏の妻女か

◇…今泉平に誘惑され一週間も京城の旅館に同泊して氏名を詐稱して夫婦氣取りで快樂に耽つてゐた大それた女もあつた、…等は惑はせる男も良くないが魔の手に引つ懸る女も頗る戒むべきことである、此の女の如きも內地から獨り旅であつた次は鎭南浦から福岡迄歸る筈の

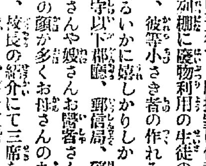
◇…十八歳になる娘が

◇…一人旅の途中で誘惑された者か行方が知れず家人が大騷ぎを行つてる實例もある、幾ら交通が便利で急用だからと言つても大切な娘を長途の獨旅に出すことは最も危險なことゝ思はれる

讀者文藝 (一等には五十錢の、籤券を呈す)

▲謎『灘晷とかけて』
◎財産爭ひと解く心は大概上流社會に多い(一等) 仁川新町 松良 松洞
▲風呂鹽村と解く心は山と海が近い 躑邊 寒 屈子
▲去年の火傷ととく心は暑さ(熱さ)を忘るゝ 利川 福井 貞女
▲多額納税者と解く心は貧乏人には用が無い 鎭南浦 きの字
▲川の淺瀬と解く心は中流以上に多い 京城 登志子

▲鴎梁津鳳山遊園の主人は却々面白い男で所謂天下國家を論じると云ふ方だがアレで却々熱心なところがある▲目下は螢の養殖法を研究していとあつて頻りに斯道の專門家たる物色中であるが何んでも主人の計畫によると朝鮮で螢が養殖出來るものならウンと養殖して行く行くは漢江一帶を石山に劣らぬ螢の名所にしたいと云ふのだ相な▲一體螢は農作上衞生上の益蟲である から幸ひにして其養殖に成功し全朝鮮に繁殖することになれば非常に有益であらう▲尤も朝鮮にも螢は居ることは居るが之は九月の始め頃現はれる秋螢で內地のよりは形も小さく數も少い



西鮮お伽旅日記(四)
◇沙里院◇ 涙光生

◇瑞興の官民諸子の心へだてぬ歡待に滿足の深き眠りは覺め難く、げに覺むれば既に六時、山くづれで道惡く俥を下りて步めば靴はのめり込みて困難一里の道を驛に出で松本販賣店に休息し、十時發車沙里院に向ふ蒸さるゝ如き車內には風も無し、人々は疲れの色を顏に浮べて汗を拭へり十二時卅分著車に入れば郡守崔台鉉、山內小學校長、堀普通學校長、京組合書記の諸氏來りて旅の疲れをねぎらはる

◇出迎への山本販賣店と宮本旅館に入れば湯殿修繕中にて今日は特に野風呂を立てたりとの事、旅館に歸れば暫らく休む事三四時間、夕食を終へて七時四十分發の列車にて黃州に向ふ汽車は夕暮の風をふくみて青田を縫うて進み行くなる

◇郡守以下郡廳、郡信局、警察のおぢさんや孃さんお醫者さん兒さん達の顏が多くお母さんの丸髷も見ゆ、校長の紹介にて三席を演ず見るいかに嬉しかりしか、彼等小さき者の作れるこれ

ばれ夫れと共に一般婦人が夜更けて外出することも成るべく見合はすべきことである

商況

東京期米特電
日前場 一信 未着

兵庫期米特電
日前場 先一節 二十四圓二十八錢 二節 二十九錢
日後場 當限寄付 二十四圓二十六錢

大阪株式特電

種類	拂込額	十一日後場
宇治川水	五〇、〇〇	…
阪堺電鐵	五〇、〇〇	…
東洋紡績	五〇、〇〇	一〇〇、四〇
合同紡績	五〇、〇〇	…
鐘淵紡績	五〇、〇〇	[illegible]
同上新株	二〇、〇〇	[illegible]
東洋製糖	五〇、〇〇	…
大阪商船	五〇、〇〇	[illegible]
日本郵船	五〇、〇〇	[illegible]
同上新株	五〇、〇〇	…
堂島米穀	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	…
大阪株式	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電
日前場
七月限 … 三四四、七五
八月限 …
九月限 …
十月限 …
十一月限 …
十二月限 … 三四八、〇〇

大阪期米特電
未着

下關期米特電
十三日前場 (小雨)
當限 中限 先限
寄付 [illegible]
高値 [illegible]
止め [illegible]

雜報

◎三品持合ひ 大阪
品は今前場の電報未着なるが昨後場入鞘は先限三百四十七圓にて前場と大差なく現物及び綿布は共に電報不着にて明らかならざるも之又左したる變りなかるべし

◎正米高人氣
[illegible]

◎手當原料を買
[illegible]

◎二十錢方上
[illegible]

◎限先一段相場を引締
[illegible]

◎下關更に高報
[illegible]

◎各期更に三十錢餘の昂騰を示せり
[illegible]

◎金物界益強調
[illegible]

◎金巾類沈靜
[illegible]

◎強調の合
[illegible]

◎口注文弗々補充的小
[illegible]

◎支那粟嫌氣賣
[illegible]

◎弗々投物
[illegible]

◎海上物十一圓
[illegible]

◎昆布豐收見込
[illegible]

◎豐收氣構 多少の下落
[illegible]

◎青物は亂調
[illegible]

◎生果類不活潑
[illegible]

◎牛皮は無商內
[illegible]

安に輸入 支那皮の割
[illegible]

向殆ど皆無 牛皮取扱を顧
[illegible]

割高つゝ約十圓方
[illegible]

◎白米ヂリヾ高
[illegible]

ヂリヾ引締 鮮臼
[illegible]

一二三十錢高を唱へ居れり
[illegible]

下關相場
▲朝鮮米(强硬) [illegible]
▲大豆(不變) [illegible]
▲小豆(保合) [illegible]

各地商況
[illegible]

釜山穀物市場 十二日
[illegible]

南大門廻穀
[illegible]

仁川正米
▲籾の入津なし
▲正米は別段變る模樣なく[illegible]

生魚市場
[illegible]

仁川期米 十三日前場 休會

▲解合談進行中
▲解合異議者

▲兩者の異議數
▲外國米移入
▲今後正米如何

食料品卸賣相場
[illegible]

青物小賣値
[illegible]

白米小賣値
一等白米 二十八錢五錢
二等白米 二十八錢

白米標準値
二十七圓八十錢

米穀賣買 仁川米豆取引所仲買人 倉 …
㋮ 廣澤正次郎 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長七六五番
㊎ 齋藤榮之助 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 電話長三六七、三六九 (サ)又(ヤマサ)
仁川米豆取引所仲買人 ㊎ 仲買店 電話一五八番 電話七二〇番
ナ 仲買店 仁川米豆取引所仲買人 電話長九〇 四番 八三二番

小雨後曇

□募集規定 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に種類又… 文藝課題(廿五)募集規定

……なりし十二日……十二日午前八時半定時入港すべき關釜連絡船高麗丸は暴風雨を冒し引き歸した程高麗丸の航海は近來になく難航であつた下關出帆の際も既に猛雨は降り續いて居たが……の高麗丸も木葉の如くに弄ばれ浪は遠慮もなく上甲板を打ち越えて機關部に浸漏水した程であつた

▼浪の音も 其度を加へデッキには色々な魚族が飾上げられ煙突から飛び込んだ魚が機關部……

○日曜學校（旭町二丁目メソヂスト敎會）午前十時『キリストの人生觀』中村牧師 八時『天よりか人よりか』中村牧師

▲川柳……▲折めみ……▲物は付『殺かねものは』▲社『洪水さかけて』 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 ……發表後一週間以内に剽窃又は同……早す但何書何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局懸賞文藝係

螢飛ぶ夜

京日紙上お伽講演

龍山涙光

ホーホーホータルコイ
アッチノミヅハニガイゾ
コッチノミヅハアマイゾ
ホーホーホータルコイ

螢の時節となりました、降り續いて[illegible]濡したまでの雨の期も雷さんがゴロゴロゴロと鳴り渡つて、何事も知らん顔のお日さんがカンカン照つて毎日暑い事つたらありません、そのお日さんが西のお山へ隱れてしまつて、澄江さんが、お母さんからお行水をして頂いて輕い浴衣の袖も長う、お緣側にホツと疲れの息を吐く時は、晝間しほれて頭も力もなかつた草木も兄さんの水をまいて呉れたおかげで急に生き返つたやうに死んだやうに默つてゐた軒の風鈴が夢からでも覺めたやうにサッと吹いて來る風に涼しい音を立て、居ります、やがて明るい電燈の下でみなさんと一緒にお夕飯のお膳も賑やかに美味しく頂き、ご馳走さまとお箸をおけば、樹の間を洩れて可愛い光りの螢さんがチラチラホラ、飛んで居りますから三々五々、澄江さんは兄さんに連れられてお籠を持つて、晝の暑さとまるで世界のちがふやうな涼しい夜風に吹かれながら町のはずれの川邊まで螢狩に參りました、向ふの方でも、彼方の方でも、

ホーホーホータルコイ
アッチノ水ハ辛イゾ

『あら光惠さんアノ螢』わたしのよ』

『いけないワ、わたしが先に見付けたのだもの、私のよ』

なぞと優しい、いさかひの聲も聞えて來ます、澄子さんは兄さんと二人で扇や、輕い袂で大分籠の中に入れ數もふゑました、草もちぎつて水にひたして入れてやりますと、火を消したり燈たりして美味さうに露を吸つて居ります。

『兄さんもう澤山ゐる事よ、澄ちやん疲れたからこゝで少し休みませう、ねエ』

川の水面に星に似た光りが明滅して、遠くで誰かゞ吹いてゐる笛の音もホロ、ホロ、と淋しう聞かれます、兄さんは又一匹取つて來て『そらまた取つたら、澄ちやんなんか弱虫だね、最う疲れてしまつた』なんて、

『でもわたし、女ですもの、そして妹、だから小さいのでせう、』と、籠の中に螢を入れて居る兄さんを見上げますと、

『さうだね、では僕が今日學校で聞いて來た面白い螢の仇討のお話をして上げやうかね、』

『ね、して頂戴な、わたしお話聞くのが大好きだから、』

兄さんは語り初めました、澄江さんは幾多の螢の飛び交ふ樣を打ながめながら夜目にも光る可愛い瞳をみはつて聞きました

× × × × ×

昔、伊勢の國あの、津の南の方に雲津の宿と以ふのがあつて、或時この近在にそれは大變お金持ちの番頭さんがお供を一人連れて御主人の代參に伊勢の大神宮にお參りしました、そしてこの雲津の宿に一泊しましたが、夜中何者にかお神樂料の澤山なお金をみんな盜み取られてしまひました、番頭さんは大變に驚いて歎きましたけれ共致方もありません、そこで番頭さんは御主人に對して申わけがないからと泣き泣きお供の者に『こんな仕末になつて何とも申わけがありませんからこれから全國の神佛を巡拜してこれもみな前の世の罪だとお詫致します、外に金もない私の事だから此處から修行者とな

つて露命をつなぎ廻國しますからお前は歸つて御主人にその由を話して見れよ』と涙ながらに一人旅へと立つて行きました、そして修行者はいろいろな辛い月を見て六個年目に雲津の宿へ廻つて來て見ますと、以前の宿は昔に替つて立派に普請をして殊の外富祐な樣子でありますので不思議に思つて近所の人に尋ねて見ますと、あの人は六年前に金を拾つたといつて今では以前に替つてあんなに立派な暮しをして居りますとの事に、番頭さんは思ひ當る事があつて一たびは恨みましたが、この宿の主人は近所でも爪彈をされて居るものでありました、そのうち夏になつて夜々涼しい螢がチラチラと飛び交ふ時節になりましたがその宿の主人は大の螢ぎらひです、今年はまたどうした事かその螢が毎夜家の内に這入つて來ますので主人は大變恐れて蚊帳の中から出ないやうにして居りましたが、何時しか澤山の螢が蚊帳の中まで入つて來て主人を苦しめます、主人はとうとう一週間振りに螢の毒氣に當つて狂ひ死に死んでしまつたと云ふ事です、酬ひはかならず來るものですね

× × × ×

お話をきゝ終つた澄江さんはホッと息を吐いて

『まア番頭さんは可愛想ね、その後どうしたでせう』

と何時までも物語りの後を追つてゐましたが

『最う歸らう、お母さんが待つていらつしやるから、』

と兄さんに誘はれて我家の方へと歸りかけました、暗へ彼方此方に飛ぶ螢、『ホーホーホータルコイ』と節呼ぶ子供の聲が遠く彼方に夜の闇に吸ひ込められて涼しい夏の夜は更けて行きます。

◎慶北共進會

◆今秋大邱に開催す◆

◇朝鮮館讓受 豫て大邱協贊會長より本府に對し無償讓與を出願中なりし福岡共進會に於ける朝鮮館建物は認可の指令に接したるが右建物及び福岡共進會より買收の建物に出陳品は殘も過般大邱に到着去る十一日會場内に運搬したるを以て不日公入札に附し建築に着手の筈なり

◇諸規則制定 共進會事務員旅費規程、協贊會事務員旅費規程、共進會事務員給與規程制定せらる

◇準備用建物 共進會準備用建物として大邱東雲町元九中隊兵舎跡の建物一棟貸付方豫て軍經理部へ交渉中の處許可ありたり

◇蠶業打合會 在邱蠶絲業者の出品に就ては既報の如くなるが右に就き慶北蠶業者は中旬に於て蒼賀商務省蠶絲課長の來邱を機とし同業者を糾合し共□蠶業者會を組織し同業者歩調を一にして慶北蠶業發展に資すべく同業者の團結を圖ると共に今秋の共進會開催當時蠶業者大會開催の準備をなすべし

◇福岡陳列所 は慶尚北道共進會の爲め特に今回出品協會を組織し同協會の決議に依り絹織物、綿織物、足袋、酒、醬油、茶及び和布人形、指物類、農具等の出品を申込み即賣したき旨申込めり

◇國擘足袋 大阪國擘足袋本店よりは過般店員を態々派遣し特設館を設置し參考品出品の申込を爲せり

◇東京の出品 東京市日本橋南文藏商店よりテクダイ三打、京橋の合名會社玉屋商店からばトランシット外十三品を何れも參考品として出品希望の旨東京市長を通じて申込ありたり

◇鈴木特設館 大邱鈴木機細工場の神戸本店よりは鮮内各地に於て取扱へる商品製造品全部を出品すべく鈴木館を特設館を設置する事に決し敷地の交渉も纏りたり（大邱）

流燈數千箋火幾百!!!

◆朝鮮故例の壯絕快絕なる一大雅遊◆會場は龍山漢江沿岸＝水上＝沙上＝一帶◆開催期は七月廿日（土曜日）

◇雨天順延廿一日（日曜日）◆交通機關は複線電鐵◆幾萬觀火諸君と共に燎火炎々の大偉觀に歡呼抃舞せむ哉

觀火大會

打揚仕掛煙花燎亂!!!

主催 京城日報社 每日申報社

◎盛況に伴ふ弊害

＝養蠶業の發達と種々なる故障＝（上）

忠南道長官 上林敬次郎氏談

忠清南道に於ける本年の春蠶飼育の狀況から見て之を數年前小原長官が非常の勇斷を以て總戸數の半數に對し每戶五十本づゝの桑樹の栽培を强要し農民は如何にして可なるかに苦心したる時代に比すれば僅々三年程の歲月もたに隔世の感がある當時は小原長官の姓名を附けて誹謗せし農民も今は其の先見の明を稱し其の徳を頌するに至つたのは新政の難有味を悟らしめ諸般の施設を遂行せしむる上に於て絕大の効果と認むるものである

◆春蠶のみにて既に◆

豫定以上に達す

忠清南道では小原長官の時に蠶業十年計畫を樹て爾來之を實行して本年は實に其の第三年に當るのである然るに昨大正六年以來一般農家に於て養蠶の有利なるを覺り自ら進んで桑を植ゑ蠶を飼ふ樣になつたので實績は計畫以上に擧りて昨年の繭の產額は計畫に於ては三千四十六石なるに實額は四千二百石となつた本年は計畫に於ては四千五百石であるが春蠶のみの實額でも五千石以上に上つたことであらうと思はれる斯く實額が計畫以上に擧りつゝあるは一昨年以來繭の價額が騰貴に騰貴を重ね來たからで必ずしも道郡の奬勵が成功したと云ふのでもなく又鮮人が勤勉となり副業に勵む樣になつたからとのみも言へない本年の繭價が昨年以上に騰貴しつゝあるは養蠶家の爲め誠に賀すべき事ではあるが予は之に對して斯樣な心配をするのである若し之が杞憂に終るならば此上なき幸福と謂はねばならぬ

心配の一つは

其の心配の一つは無智なる鮮人農民が繭價の高きに馴れて昨年本年の價格が當然であるかの樣に思つて他日一石三十圓とか四十圓とかに下ることかあれば直諦らないと言つて桑を拔く樣な事は有勝らで現に本年或地方では米價が昨年の倍もして居るのに繭が八十圓九十圓では諦らないと言つてドウシても賣らなかつたと云ふ事もある故に予は昨年來郡守をして普く農民に論して繭價が斯く騰したのは豫想せざる利益であるから其利益の全部は農事上の改良事業に投じて他日の記念とせしむると共に努力して居るが餘り奢侈浪費の風を滑して居らぬ樣に見受けるのは誠に悅ばしい事である

心配の二つは

心配の二は誰も彼も養蠶の利益なるに眩惑し無謀なる飼育を爲す者の出來ることである現に本年も道の手で共同購入をさせた以外商賈の人より蠶種を買入れて之を飼育した者が各郡共非常に多かつた自由に蠶種を購入する結果蠶種の統一は全然破れて商品としての繭價を損することゝ懸しいが是はまだ恕すべしとしても鮮人の常癖として所要桑葉の量と乃至は桑葉の生產量とか乃至は飼育に要する勞力

○大邱の評議會 慶北道廳にては十五日より三日間郡財務主任會議を開催の筈なるが今回は主として前回發布されたる地方稅令改正並に關聯事項等に就て打合なりと▲過般開催せる大邱商業會議所評議員會に於ては大正六年度決算報告の一部委員附託となり居たるが委員の調査完了したるを以て來る十一日午後一時より同會議所に於て前回に引續き評議員會を開催したりと（大邱）

○小樽高商生視察團 北海道小樽高等商業學校三年生五十名より成る滿鮮視察團一行は敎授中村之助氏外一名引率の下に來る二十三日午前一時二十七分平壤驛着列車にて來り同日は市内及び各名所舊蹟を探り午後一時半列車にて京城へ向ふ豫定なりと（平壤）

水害…慶南

進永地方の被害

大雨にて南江の一帶は勿論咸安、宜寧、郡北、漆原、固城、鎭東、昌原、進永等は浸水田畑數千町步に及び中にも進永村井堤塘の如きは農民何れも避難の準備を爲しつゝありといふ位にて鐵道線路を僅に殘して一大湖水となれるが今後降雨歇まずんば同地方は忽ち汎水を見るべしとて憂慮し居れり（馬山）

○慶尚農銀總會 慶尚農工銀行にては來る廿五日午後一時より第十一回株主定時總會を開催して（一）第廿期財產目錄、貸借對照表營業報告書損益計算書承認の件（二）全第廿期利益金處分案議決の件（三）取締役任期滿了に付改選の件（四）役員功勞金支出の件を附議すべし（大邱）

○龍のミイラ

但し僞せ物

◆拵かれたる某高等官 五百圓とは以ての外◆

驚く勿かれ一個々々の五……

平壤は櫻町小野古著店に正直正銘の龍があると云ふので或人が同家の主に是非參考の爲め龍といふものを見せて呉れと逼つた處が古著屋の主人の說明の振つてゐる、先づ取出したのは燻つた小さな桐箱で恭しく其蓋を取ると綿に包んだ異樣な長さ三四寸の

◇◇成る程是が龍かとも◇◇

思はるゝ乾固めた蟲の樣な魚の樣な妙なものが現はつた、其說明に據ると龍は決して大きなものではない此龍には卻々の由來がある、即ち同家の先祖が何とかして龍を手に入れんとして種々苦心したが手に入ることが出來ない然るに

◇◇ある夜不思議にも◇◇

朦朧として先祖の枕邊に現はれた白髮の老人告けて曰く、龍を得んと欲せば佐渡ケ島に赴くべしとの告けて煙の如く失たので正しく之れ神の御告けなりとて早速佐渡に渡り捕獲せしが即ち此龍にて

◇◇先祖代々の寶物と◇◇

して保存し來れりと語つたので其の因緣を聞いて其も成程珍らしきものであると其まゝ引下つたが此事いつしか有名な某高等官の耳に入り大分評判が高いので其高等官もツイうかうかと見物に行く氣になつた、所が見ると成程眞正の龍らしくもあるので宴に其の龍を總督府の帝室博物館に獻納すべければ金五百圓を以て

◇◇譲り渡して貰ひたい◇◇

と交渉した所が古著屋先生かぶりを堅にふると思ひきや劍もホロゝの挨拶で此の品ばかりは五百圓はさて置いて五千圓五萬圓でも手放すことは出來ぬと云ひ張り例の家寶の由來を長々しく物語つたので

◇◇高等官も手を引いて◇◇

歸つたところ其後評判が平壤市中に徐々高くなつたので色々の噂を生んだ所が妄に端なくも其龍こそ寸分違はぬ同じ物を所持してる者が平壤の或る所に現はれた、そこで古著屋の龍こ

◇◇同じ物を持てる人◇◇

に就て聞けば其の人は笑つて曰く別に斯んなものは珍らしいものでなく五百圓抔とは以ての外のこと一つ五錢なら廣島へ行けば何百何十個でも求められるといふ

◇◇譯を聽けば下らない◇◇

俗に云ふ『龍の落し兒』といふ海產の小魚を乾固めたもので實物は圖案抔によく應用され展覽の一昨年には千支に因んで新聞雜誌に見做さるゝほど世間に出てる海馬と稱する小鯔類に屬する小魚のミイラである事が判つたとさ（平壤）

○大邱の舞臺開き

いよいよ十五日より興行

新築落成したる劇場大邱座は其後大道具小道具其他内部の設備萬端整ひたるを以て舞臺開きの初興行として内地より市川市藏、尾上梅三郎、市川姉太郎、市川小傳次、姉川新車の一座數十名を招く事となりたるが一行は十三日大邱に乘込み十四日町廻りを爲したる上十五日夜より初興行を爲す筈なりと

張三李四

◆事務員取押へらる◆ 釜山富平町王大神膳左衞門（三）は内外石油會社事務員として勤務中六百餘圓の金品を會社より横領せしこと露見し釜山署の手に御用ッ

◆内鮮を跨にかけて◆ 住所不定の朴秀一（こと）は大池秀一其他種々變名して内地と朝鮮間に於て竊盜其他の惡事を働きお尋ね者なりしが草梁にて取押へられたり

◆徵兵適齡と搜索願◆ 鹿兒島縣鹿兒島郡生成尾勝二（二十）は釜山鎭名越方へ奉公中昨年家出せしが徵兵適齡の事とて鄕里の實母より搜索保護願を差出したり

◆大連から逃た娼妓◆ 大連にて娼妓を勤めゐたる望月みね（二十）は前借を踏倒して逃亡し釜山南濱吉田支店に潜伏し居る形跡ありとて大連より搜索願を出だす

◆次は逃げた娼妓◆ 釜山洲崎貸座敷業小野方娼妓山口縣豐浦郡瀧部村田村まさ（三）は昨年八月鄕里表へ逃亡し娼妓を勤めゐたる事發覺し釜山へ連れ戾さる

◆白晝戶を閉して◆ 北滿地方の秩序亂れし隙に乘じ馬賊の跳梁甚だしく地方部落の如き白晝戶を閉して住民何れも脇息し交通するものなしとは氣の毒なり

東京大相撲 木戸割引券（仁川興行中） 後援 京城日報社

京城日報御愛讀者にして此割引券御持參の御方は卅錢の木戸料を廿錢に割引致候

林業家福音 發育迅速十年生長四五十尺の理想用材 米國黄金カタルパスペシオサ新輸入 苗二萬本分讓說明書進呈 愛知縣□□郡七寶村 サフラン園

參百枚限り特價提供 純毛と少しも遜色なき セル袴タッタ金貳圓七拾錢
願る實用向き袴今回内地某問屋より流れ品を引受け前記の格値段を以て提供仕候間賣切れぬ間に御注文願上候 地方御注文は年齢寸法御通知次第親切に御見計ひ早速引替小包にて御送附但し五枚以上は送料弊店持 京城本町三丁目電話二八三一番 福井屋 大石衣服店
店員入用 年齢十七八歳以上二十四五歳の者二三名入用但し保證人を要

夏が來ました 休暇が參ります 海に、山に、 唯一の慰み、樂しみは ニッポノホン鷲印レコードが 他に類のない、新らしい 用意が出來ました 一曲目に、曲目に、演奏者に、趣向に、 お旅行には蓄音器を決してお忘れ下さるな 時に……
七月の新譜が出ました 壹枚 金壹圓二十錢也
●竹本津太夫の吹込 一義太夫 城木屋の段
●竹本錦太夫の吹込 一同 寺子屋の段 一合 一力茶屋の段 竹本錦太夫 竹本雛太夫
●虎丸の浪花節 一千葉三郎兵衞 一河内山宗俊
一、清元 身代りお俊 喜久太夫
一、大薩摩 撥の曲 新坊一派
一、常磐津 阿漕平治 岡本松旭
一、筑前琵琶 四條畷 渡邊旭心
一、尺八 寒月 中尾都山
一、三曲 夜々の星 米川親敏、中尾都山
▼どんな所が吹込まれたか讀んでわかる七月々報進呈 ▼御注文は最寄の特約店、當店へ ▼歐米曲種支那ノレコード有之候
朝鮮京城本町一丁目一九 株式會社日本蓄音器商會 電話一一八三番

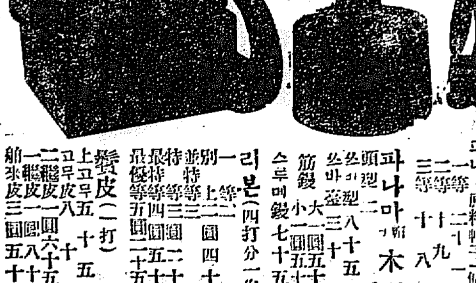
制限給水廣告 京城水道 大正七年七月十三日
七月十三日以後當分ノ内給水時間 午前五時給水開始 午前十時給水停止 午後三時給水開始 午後九時給水停止
但土地ノ高低ニヨリ多少ノ遲速アルベク仁川水道補給水送水ノ見込ナルモ大部分ハ吐水セサルヘシ
●正誤 昨十二日本紙夕刊廣告中『午前五分給水開始』とあるは『午前五時給水開始』の誤りに付訂正す

加 化粧品石鹸問屋 伊勢勘 あらゆるもの無手數にて取扱申候 大阪市南久寶寺町三丁目 振替大阪二八二五番

陸軍諸官衙御用達 品質優良價格低廉 煉瓦屋根瓦 製造販賣 一時に何十萬個にても御注文に應じ可申候 何多少に拘はらず御用命希上候 京釜線六田 安井工場

大人氣大好評 大阪毎日新聞連載小說 塩原多助 實業家の成功美談 全通し七卷 日活特約 大正館 電話八七三

帽子에原料附屬品과機械類를總司完備之商店은 大阪市 江指商店 高麗橋
直段大勉强 見本進呈



파나마原料帽子一個 一等二十一錢 二等十九錢 三等十八錢
파나마木型 頭型二圓 쓰개型八十五錢 쓰바臺型三十錢 筋鏝 大一圓五十錢 小一圓五十錢 수루메鏝七十五錢
리본（四打分一卷） 一等上二圓四十錢 別特等二圓 並等三圓二十錢 特等三圓五十錢 最特等四圓二十錢 最優等五圓二十五錢
鬚皮（一打） 上고무五十五錢 고무皮八十錢 二經皮一圓六十五錢 一經皮一圓八十錢 舶來皮三圓五十錢

外科花柳病 内科婦人病 入院隨意 醫學士 齋藤勇 醫士 齋藤豐次 京城本町五丁目稲荷座前 電話二〇一二番 大和病院

塚原卜傳

第百三十五席 悟道軒圓玉口演

上泉門下に於て四天王或は八天狗など〻稱する面々が異口同音に助勢をすると申しましたから上泉伊勢守も大に喜こび 秀『万々の勇氣も、自然のやうではある、御身等が腕を揃へて乘込めば何百人ありとも恐るゝに足らぬ、小太郎にも安堵致して宜しからう』と師の恩言、小太郎も初めは辭さんと思ひましたが折角の言葉ではあり、同門の人々の好意を無にしては濟まぬと思ひましたから其好意を謝し、助勢を受けることになりました、尤とも彈正一人は小太郎が他手は借りずに討果す、其餘の家臣の面々が妨げなさば、一同が腕を揮つて切捨てやうといふ手筈、一同勇み進んで支度に掛りました、お話變つて佐竹彈正左衛門父子、彌々八月廿二日早天に供揃ひをして岩城の城を出で彈正父子は馬乘でございまして供廻りの面々行列美々しく乘出しました、伊達家より八重姫を送つて來た兵庫の家來藤掛平太夫、保野重內、桑折主水正大笹牛內の四人も彈正に隨つて馬乘で打立つて行く、彈正左衛門に隨ふ武士には居崎武右衛門、野田三左衛門、安藤典膳、吉沼五左衛門、高山三之助、鶴見新之助、松田十郎、遠藤五平次之丞等は名代の人々であります、凡て彈正の傍を放れず付添つて行く、其外若黨仲間三百五六十人、七萬石の祿高ではあるが大國の主同樣の行列であります、奥州路をさして乘込んで參りました、勿論旅舍も馬廻りを乘して彈正に附隨つて居ります、日を經て奥州岩沼へ到着する、岩沼の城主伊達兵庫介老臣を遣はして出迎へさせ、城中へ招じて饗應いたし、善美を盡して歡待いたしまする、彈正父子も初めて兵庫に面會することであるから種々の贈物を持參いたし、其後は打解けて酒宴などいたし其夜は城中へ泊る、翌日は兵庫の案內にて當國名代の松島より鹽竈明神へ參詣をいたし其外陸奥の名所古蹟を巡覽するといふ事に定めましたが彈正父子も自己の運命茲に窮まるとも知らずして悉く滿悅の體、然るに茲に城中に居りました出羽の最上家の客にして杉山半齋といふ儒者、博學を能くいたします者、同じく酒宴の席に招かれて居りましたが佐竹彈正の面を見て大に驚ろいた樣子で次に立つて主人兵庫を呼び 半『外でもござらぬが彈正殿の面に劍死の相が顯はれて居ります、しかも只今より三日を出でぬ中に及に罹つて非業の死を遂げるといふ急難の相でござる、明日松島遊覽の途上何者かに討れて最期を遂げられるものと相しました、が之れは御主人より彈正殿へそれとなく告げて遊覽の議はお止まりある方然るべく……』といふ兵庫は眉を顰め 兵『之れは怪しからぬ、磐公は相學の達人といふことは承はつて居るが彈正殿に確かに劍死の相が顯はれて居るか』半『彌明に判ります』兵『フムシテ遊覽を止まれば其死は免れることが出來るか』半『それは免れません、最早定命でござるに依つて免れることは叶ひますまいが併し相といふものは刻々に變化するものゆゑ若しくばその劍難を免れることもないとはいへぬ、併し百中の九十九まで其死は免れますまい』兵『併らば止まるも無益ではないか』半『併し當家の招待にて遊覽の催し、其途中にて彈正殿落命に及ばれなば佐竹家へ當家より申譯もござるまいから同じ事なら其儀を告げ、此儀お止めになつた方が宜しいかと考へます』兵『イヤ其れも出來まい、定業なれば其れまで、亦相は變化するものとの御論の言葉通り場合に依つたら免れることもあらう、當家にても充分に人數を以つて警固いたすから心配はない』と兵庫が半齋の言葉を用ゐなかつたのは乃ち彈正の究まる運命であります

◎大邱乘馬會

◇第二回試乘を催す◇

去る六月十六日發會式を兼ね第一回試乘會を催したる大邱乘馬會にては十四日の日曜日を卜し第二回試乘を行ふ筈なるが今回は午前九時三十分驛前七星岩廣場に集合し達谷郡邑內(二里廿三丁)に往復し集合地に於て開散する筈なりと因に會員現在數は廿四名にして幹事は騎兵大尉萩原憲兵中尉の兩氏なり(大邱)

◎大邱の送別式 新築落成したる大邱第二公立普通學校にては去る七日公立尋常高等小學校より男女生徒を合し三百四十名を引取り就學を開始したるが去る十一日は右移校生徒全部を稻川校長以下教員引率して舊校に到り送別式を擧行し兩校々長及び生徒總代より各自送別の挨拶を交換して歸校せり

◎清州の句會 清州の俳人、水越可紅、波田悟竹、清水一流、西村綠也の諸氏に依りて『吟社孤々の會』を擧げたり去る七日第一回句會を淨土宗布教所に開き會するもの初心、悟竹、桃里、酒月、草二、芳涯、一水、柳浦、綠也の諸氏兼題及び即吟互選したり互選の結果、綠也(二四)桃里(二三)初心(一四)芳涯(一三)以下略す(清州)

◎大邱の三氏送別宴 釜山地方法院長に轉任せし前大邱地方法院柳澤佐五郎氏、京城覆審法院に轉じたる判事市田邦司等に榮轉の高田官吉三氏に對する官民有志の送宴を十日午後七時より芳千閣に開催したるが出席者百七十名にて盛宴なりき(大邱)

暦

七月十五日 九星 舊六月八日 癸亥 本命四祿 選定 先勝

◉四祿 恩を施して身を守るの日新事手控へ事は吉 ▲五黃 立てらるゝ事は吉 ▲六白 平運の日 ▲七赤 迁遠の事有日新事手控ふべし ▲八白 拜みたほしの事心にせらるべし ▲九紫 爽快の日 ▲一白 上品なる日 ▲二黑 不相當の事 ▲三碧 同情多き日

演藝案內

壽座 京城壽町 電話五七八

新派さゝ良合一行 當る七月十三日第二回目 大切(明日新聞小說)北島春石氏作

大正館 櫻井町 電話八七三

上本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 當る七月十二日より特別興行 ◎西活劇『死の列車』全四卷 ◎グラフ會社特作『ジョン鐵道』

浪花館 明治町一丁目 電話二六〇番

當る七月十一日より開演 ▲京阪落語部樂會一座へ東京に若手數名加盟

有樂館

早川演藝部直營 活動寫眞常設館 當る七月十二日より公開 ◎本國ユニヴァーサル會社特作 ◎人情劇『父の爲めに』全五卷 ◎第七編『ダイヤの一』三十八號 三十四卷

黃金館 電話二六三七 二六六

大然色活動寫眞 當る七月十二日より特別大興行

壽館 京城本町 電話一〇五〇

七月十三日より 國定忠治 全二卷

新式 魔法瓶 △圓筒形 三合入金一圓九十錢 四合入金二圓三十錢 五合入金二圓(空白)

△水筒形 三合入金弐圓三十錢 四合入金弐圓六十錢

△送料 鮮內二十四錢 外四十五錢

京城太平通 京城日報代理部 電話六〇〇 振替京城三〇〇九番

時計貴金屬指輪眼鏡商 三浦天龍堂 京城本町二丁目(京城銀行前) 地方の御注文は代金引換にて送る

寫眞 京日寫眞製版部

流經新藥レスメリン 月經 常盤藥院

のみとり粉 かとり線香

猿票 月虎票

紀州 日本 大阪 上山靜藏鑒製

內科 眼科 小兒科 京城黃金町三丁目赤門通(電車停留所前) 本田醫院 院長 本田建義 附屬 京城肛門病痔疾療院 電話二四四三番 振替京城三三八番

肥料 過燐酸、硫酸アンモニヤ、智利硝石 鰊メ粕、油粕、大豆粕 販賣 特色 配置驛・京城・釜山・裡里・水原・鳥致院・平壤

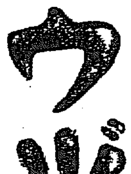
秋蒔種子 大根 蕪 各種

京城南大門通四丁目電話一八五〇番 大阪產業株式會社京城肥料部

銘酒 金 銀 菊正宗 釜 釜 特約店 三巴京城支店 電話八五〇三番

榮養ヲ增進シ精力ヲ旺盛ニス グリコナール錠 本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル榮養劑 三共株式會社 東京室町

見本(…) 禁煙パイプ 一貫社專賣



清い肌 垢ヌケした生理的の美貌は、どこまでも厭味のない、そして活々した奧床しさを添へます 肌を清くしツヤをよくする

ウヅマキ石鹸

あらゆる美容 あらゆる化粧 の地肌を整へるには本品に限ります

天野磯五郎

御進物に 金鶴香水 どちらでも おまちかね!

いろは金言カード 消化と毒けし 仁丹 三輪 井上 両博士御方劑 本舖 森下博藥房

と 德なき美は香氣なき薔薇の如し(西諺)

ち 沈默以て汝の怒を療せ(アラビヤ俚諺)

東京 万平灸 京城黃金町三丁目ノ一四一

るいれき病 橫山家本邸 兵庫縣播磨明石相生町

汽車 京釜線(南行) 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京仁線(仁川行) 京元線(北行) 同(南行)

京城日報

第二版

…旺盛なれば相場は騰進的歩調を進め…と云ふ高値にして前…物の市價は…物殆ど掃底し…物亦手薄なりつゝあるが去五日大阪に於て開…し三圓方の上進を示し又太にて大阪…氣強く前月上旬厚物四十…催されたる大阪鐵道倶樂部主催の…初も廿三圓より廿六七圓を呼…二圓より五十五圓見當なりしに昨…

本紙定價　壹ヶ月七拾五錢▲郵税…　壹ヶ年前金…
廣告料金　…七字詰一行…
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號…　振替京城…

□勝利の現勢

左の一篇は北支日報所載に係るものなり時局研究者之に抄錄す

[illegible]露國[illegible]に於ける[illegible]を來せる其原因と稱す可きもの二あり一はレニン政府がチェック、スラヴァック人に對する浦鹽への自由通過の約束を取消したるよりチェック、スラヴァック人之に憤慨し早くも過激派に對し機制的行動を取りたること二は西伯利自治政府の傘下に馳せ參じたる農民及び勞働者階級がオムスク、トムスク、バルラユール其他に於ける

□勞兵會の政權を顚覆

せしめたると是なりとす同方面の勝軸斯の如くなるより哈爾賓に於ける各種政治公共團體の代表者は一齊活況を示し來り前週來各地方團體は幾回か秘密の會合を爲したるが之には西伯利各地より來れる有力なる公共的人物參列せり其結果として最近二個の非常特別大會開催せられ頗る重要なる決議案を通過せり第一の大會は本國救濟機關委員會の召集せられたるものにして西伯利假政府の代表者及び若干の憲法會議々員及び前下院議員列席せり議長席には日本より歸來せる前下院議員ウオストロチン氏之に就きたるが會は西伯利に於ける

□武裝獨墺俘虜 及び過

激派に對して戰ふ爲め武裝的援助方を哈爾賓駐在聯合國領事を通じて北京の各公使に求む可しとの決議案を殆ど滿場一致にて可決せり第二の大會は哈爾賓各民主團體（是等の團體は主として立憲民主黨員より成る極東委員會と提携するを欲せざるなり）援助の下に開かれたるものにして此大會には西伯利各地の各民主團體の代表者招待せられたるが其中には西伯利假政府（此假政府はトムスクにて僅に一日存立し居たるもの）の政府員若干名憲法會議々員及び前下院議員も含み居たり此大會も『過激派が獨墺俘虜を助け之を武裝せしめ西伯利亞を破滅の淵に沈淪せしめたるを以て

□聯合國が是等 の獨墺

俘虜の組織的團體に對して戰ふ可き獨國人を助くるの時機到來せり聯合國に對しては西伯利の主權と保全とを顧慮せられ決して犯さるゝが如きことなきを求むるものなり』この發ね書を哈爾賓各國領事の手を經て北京の聯合國公使に送附する』の議を大多數（鐵道從業員は投票前に會場を去れり）にて通過したり之に依つて見るに民主團體は其決議案に於ては直接に援助を求むることなきも然も極東委員會の決議案は殆んど大同小異にして鐵道從業員以外の露人は皆西伯利亞に於ける平和と秩序とが近き將來に於て恢復を見

□獨逸の覊絆を 有効に

一掃せらるるには聯合國よりの武裝的援助は緊要事なりとなし居れり聯合國は數月前に共同的行動を取ると至當なりしも之れを等閑へ露國民の輿論を眞に代表せる責任ある露人の要求を受くるまで之を俟つことゝせり然るに今や此要求ありたるを以て露國及び聯合國は是等共同の敵に對抗するに足る丈けの兵力を送るに時を失する莫らんことを期待せらる西伯利沿線にはチェックスラヴァック人約四十五隊あり一隊各千名より成れるが

□彼等は浦鹽に 輸送せ

らる、答にして約一萬は既に同地に到着せり是等のチェック、スラヴァック人は完全に編成指揮され戰鬪單位として存續せられざるものなりセミヨノフ大尉は哈爾賓第百八驛が過激派に投じたるが爲め滿洲國境に急退せざるを得ざるに至りしが今や赤衛軍はチェックスロヴァック軍がイルクック迄の據を占領しチタ及び黑龍江鐵道に向ひつゝありとの報ある爲め之に對抗せんとて急遽撤退したるを以てセミヨノフ大尉は再び進擊を開始し得るに至れり然れども大尉には其背後に其抱負を成就するに足る丈けの兵力を有せざることゝて若し撤退せる過激派軍にして

□引返し來らば 大尉

は再び支那領土に退却せざるを得ざるに至るやも知る可からず若し聯合國にして敏速なる行動に出で過激派の機先を制するに於ては其東方より前進すると共に西方より大なる聲援を受くるに至る可く同時に聯合軍が出動せりてふ一事實のみにても勞兵會の獨逸に脈慴せたる人民の希望を喚起し勞兵會側士氣を沮喪せしむ可きや必せりといふ可し

露國市場の將來と諸問題（十一）
對露貿易に關する諸問題（六）

人口の稠度は各地方に依り大なる差異あり其最大なるはヴィスッラ傍地方にして一九一三年一月現在一平方露里（四四平方哩）平均百二十人なり最も少なるは西伯利地方にして一平方露里平均僅に一人にすら充たず（〇、九人）全國平均九人餘の割合なり。左に各地方別人口數を掲げん

露國	一二五、六八三、八〇〇
ヴィスツラ（波蘭）地方	一二、九六〇、五〇〇
高加索地方	一二、五一二、八〇〇
西伯利亞	九、七八八、四〇〇
中央亞細亞	一〇、九五七、四〇〇
芬蘭	三、一九六、七〇〇
合計	一七四、〇九九、六〇〇

▲露國の新聞紙　一九一三年に於ける前記人口一億七千四百餘萬人中、二千四百六十四萬八千四百人即ち其一割四分二厘は都會に住居せり、露國に於ける都市の發達は其一般人口增殖割合に比し更に著しきものあるを見るなり。例之ば莫斯科の人口は一八九七年に於ては百三萬八千人なりしもの一九一五年に至りては百九十八萬三千人となり、彼得具羅士の人口は同じく一八九七年に於ては百二十六萬四千人なりしもの、一九一五年には二百三十一萬八千人となり又キエフの如き、同期間に於て二十四萬七千人より六十萬人に及べり。而して此等二千五百萬の都市民は其教養程度頗る高きものあり。這般の事情は屢々人の看過する處にして、何人も露國の地域廣大にして、人口亦稀少なるを知ると雖も、而も同國最近十年間に於ける人文、教育方面の異常なる發展に就いては之を知るもの眞に寥々たり。試みに左の例を以て之が證左となさんか戰爭勃發以前、同國二百四十六都市より定期に刊行せらる、新聞雜誌の數は二千百六十七に上り、三十三箇國の國語に亘れり。之を種別すれば左の如し

一般的のもの八四六▲農林漁獵に關するもの一八六▲都市問題七八▲工業及鑛業七二▲遊技自動車及航空術等に關するもの三九

前記の如く露國の人口は地方に依り大差ありと雖も何れの地を問はず未だ新聞紙の到らざる所なきが故に、之を用ひて適當に廣告の利用に供せば、如何なる商賈と雖も容易に其市場に入り成功を贏ち得ざる理なし。左記の説明は同國市場に入らん事を希へる米國の製造業者並に一般貿易家の爲に最も適切なりと思惟す。

▲彼得具羅士及莫斯科の刊行物▲彼得具羅士及莫斯科に於ける定期刊行物七百三十九あり。就中十數種は其主なるものとす。商工業等に關する專門的の刊行物も大に進歩し其他百般の事業毎に各々自家特殊の刊行物を發行せるが如き狀勢なるが、其發行部數最も多く且つ最も廣く購讀せらるゝものは、一般的關係のものにして彼の大藏省公刊のトルゴボ、プロミシュレンナヤ紙の如き商業專門なりと雖も、矢張り一般的及び政治的記事を掲載し居れり。かるが故に米國人にして露國市場に侵入策を講じ廣告を利用せんと欲するものは先づ第一に上掲の何れかの定期刊行物を用ふると同時に、一方多少特殊專門的の新聞雜誌をも併用するを得策なりとす。例へば今日の好機に乘じて農業用品を賣込まんとするものは、先づ彼得具羅士及び莫斯科に於ける一般刊行物に廣告すると共に、事業に關係ある特殊のもの即ち事業若くは都市或は農業雜誌等の專門的の刊行物にも登載するを可となすなり。更に一例を擧げんか、今若し米國商店が露國より貨物の輸入を企劃し或は農業機械器具類、自動車、其他遊技具等を輸出せんと欲するは前記一般的刊行物を利用すると共に、夫々商業、農業、工業、遊技專門の雜誌を利用するを以て有效となすなり。

貿易六倍增加

本年度上半期に於ける本邦外國貿易は前年盛況の後を受て引續き殷盛を極め輸出入貿易總額は十七億三千五百萬餘圓に達し之を前年同期の總額十一億五千四百萬圓餘に比較すれば五億八千百餘萬圓の激增を見たり而して輸出は八億九千六百餘萬圓にして之を前年同期に比すれば一億八千八百餘萬圓の增加を見輸入に於ては總額八億三千九百餘萬圓に上り之を前年同期に比較する時は三億九千三百餘萬圓の驚くべき增加を見るに至り殆ど此對比するに五千七百萬圓の出超を示せり右の内貿易額の激增したるものに就て見るに輸出に於ては石炭、生絲、屑絲、綿絲、羽二重、綿織物、燐寸、陶磁器、ボタン等にして輸入に於ては米、豆、皮革、砂糖、護謨、綿花、羊毛、油粕、鐵類、石油、紙、機械類等の激增を見通じて四割以上の增進を示せるは輸入中最も目覺ましき增進を示せるは輸入に於ては鐵類を首位とし其他に於ても原料品に多くを示せるは甚だ歡迎すべき現象にして即ち今後之等原料品に加工の上再び輸出せらるゝ曉は如何なる所にして下半期に於ては一層の活躍を爲す可きを豫想するに難からざるなり（東京）

□亞行線（原稿未着に付休載）

[illegible]居士送別會席上（三）
[illegible]明了絕疑。無佛本來能識時。把往放行四年。[illegible]
學鷗曰、[illegible]
[illegible]
學鷗曰、不著非[illegible]
[illegible]
學鷗曰、詩亦見情深
學鷗曰、起承尤推崇妙
韓山[illegible]
學鷗曰、[illegible]
[illegible]報國。[illegible]
學鷗曰、兩臨[illegible]人入京。
挽回新運啓群疑。滿壯文章報聖時。笑看邱天地小。不如入洛試。　松田學鷗

筆を以て戰ふ
ホール、ケーン氏

◇ホール・ケーン氏と云へば英國第一流の小説家である、彼が作の『クリスチャン』『イターナル・シチー』などは日本にも愛讀者が多い。然るに歐洲大戰勃發以來彼れは全く小説に筆を斷ちて、此大戰の意義に關して世界の人心を鼓舞する事に力を盡して居る、其熱烈なる論文は或は獨攻擊、或は聯合國鼓舞となつて、英國では『デーリー・テレグラフ』米國では『紐育タイムス』に載せられてゐる。

‖即ち彼は筆を以て祖國の爲めに戰ひつゝある‖

ので、徒らに閑日月を樂しむ文學者風は彼の知らざる所である。

◇愛蘭問題で最近英國政府の基礎が動搖した時、彼が署名した二千語の論文は倫敦より紐育に電報に依りて送られ之が『紐育タイムス』に載せられた。其一節に

『今日は内政問題に依つて出征陸海軍の士氣を沮喪さすべき時でない、若し愛蘭が面倒ならば、吾人は單簡明瞭に告白するが寧ろ愛蘭を捨るがよい、今日は何物を捨てゝも關はない。

‖只吾人は此戰爭に勝ちて自由と安全と信仰と‖

人間の威嚴とを保ちたいのみである。其の他のことを考へる權利も餘裕も力も持たぬ。愛蘭問題は第二の問題である、第二の問題の爲めに此の人類存亡の大戰爭の遂行の妨げをなさしむるは道德と文明とに對する罪惡である』と云つて居る。

◇ロイド・ジョージ内閣を論じてホール・ケーンは云つて居る。運命の豫言者は英國内閣が危機に瀕して居ると云ふ。ロイド・ジョージの反對者は議會にもある。新聞界にもある。其の反對者の中堅は愛蘭自治黨でもなく統一黨でもなく、實は前内閣の殘黨たる自由黨の不平分子である。彼等の豫言する處によると内閣は愛蘭問題の爲に仆れ愛蘭自治案は失敗し、議會は解散され、英國は何うなるか分らぬとある。

◇『此豫言の中るや否や』を論ずる前に

‖彼等は何を理由として、ロイド、ジョージを攻擊‖

するかを見る必要がある、彼等は云ふ第一、ロイド・ジョージ氏は今迄民主主義の代表者として立つて來た人である、然るに彼が内閣を組織して以來の仕事は奈何。先づ國民に對して責任を負ふべき内閣を廢止して憲政の第一義を破壞した、而して自分は今迄の何の内閣も有せざる如き權力を一身に集め其の周圍には議會に對して責任を負はざる役人を集めて、諮詢機關として居る。之は民主主義でない。第二、ロイド・ジョージ氏は新聞記者の或者を利用し、之に國家の秘密を洩らして、自分の政敵を斃すの方便に使用した。第三、ロイド・ジョージ氏は自分の地位を守る爲に自分に都合の惡い軍人を更迭せしめた、而して更迭を徐々ない如に見せる爲に新聞をして先づ是に對し攻擊の筆を向けしめたと。

◇此等の攻擊が事實であるかないかは問ふ所でない、吾人の聞かんと欲する所は此等の攻擊が事實であつても、

‖其れが目下の最大問題たる戰爭の遂行を妨げ‖

たりや否やである、吾人はロイド・ジョージ氏の行動は、彼一身としては聞人の敵を作つたにせよ、戰爭遂行には何の妨げもなかつたと斷言し得る。過去一年半の間ロイド・ジョージ氏は國民をして此戰爭に對して決心の臍を固めさしたのである。後世此大戰の歷史を書く者は聯合國側に溢れて居るロイドジョージ氏の熱誠を無視しては書けぬのである。前に列擧した彼に對する攻擊の理由の如きは戰時國家の運命を双肩に負つた何れの政治家に對しても向けられた攻擊である。英國が戰爭の時

‖小ピットが議會で攻擊‖

されたのも斯かる理由であつた。其の攻擊を聞いたならウエストミンスター寺院の石の下に埋もれてゐる大ピットの遺骨も我子の不肖を悲しんで泣くであらうと云はれた。元來國大統領リンカーン氏も初期大統領任期の終る頃は南北戰爭の形勢は惡し國債は增加する許りで、彼は議會の内外で猛烈に攻擊され、危く大統領選擧に敗れる所であつた。

◇英國は米佛伊の如き偉大なる盟邦を網し、白義義の如き殉難の國家と共に國家存亡の大戰を行つて居る。敵は其の大攻勢初期の成功に乘じて死傷を顧みず、攻勢強行に決心して居る。此國難に際してロイド・ジョージ氏を倒さんとする者は先づロイド・ジョージ氏に代るべき程の人物を見出して而して後內閣更迭を企つべきである』と

勸業債券

▼改正最も樂みの組合月賦賣

六十九回　六十八回　四通組合初回四圓　次回より三圓宛十八回
六十九回　六十八回　六十六回　六通組合初回六圓　次回より三圓宛十八回
六十七回　六十五回　十通組合初回十圓　次回より五圓宛十八回

東京市京橋區　岡崎町二ノ二　日本勸業社債券部
振替口座東京三九六六〇番　電話京橋五四二番

圍碁布陣挑戰法

方圓社長七段　中川龜三郎師著（和裝二冊箱入）價壹圓廿錢　送本料八錢

東京　大阪屋號　振替東京二五三七

盡界渴望の布石攻合法（進擊猛襲突破）を更に進めてヨセの手順を白の大勢に到る迄中川方圓社長が最近三ケ年を費して最も平易簡潔明快に説明せる天下唯一の珍書也

圍碁布石攻合法（四版）中川方圓社長著　布石の方法より其變化更に進みヨセの手順を白の大勢に到る迄　全二冊箱入　價壹圓廿錢　送料金八錢

麻苧、麻繩、ロープ、綿糸、玉糸、荷造糸、荷造細引、抱裝材料刷毛類

地方御注文は迅速に御便宜相計り可申候

京城太平通二丁目　御小賣　川端[illegible]商店　電話一八〇二番

大日本養鷄普及會編纂

本邦創始　養鷄講義錄

附　鶉・雛・七面鳥・鶩・鴨・飼養法

一婦の力

有精卵一日四個の時間…四坪の地…一年純益確實百貳圓…資金要貳拾圓
產卵一日四個の時間…四坪の地…一年純益確實百卅圓…資金要五拾圓

三ケ月卒業會費貳圓五拾錢

農商務省後援

會則説明書申越次第進呈す（十二科目）

東京市日比谷有樂町一丁目　大日本養鷄普及會　電話新橋二八四八　振替東京二七三〇

堂創立二十八年

時計及蓄音器卸商

京城黃金町二丁目　喜多金光堂　電話一〇一五・振替京城七八二

清酒商標圖案懸賞募集

一、稻姬一等　金五拾圓也
一、灘勝一等　金五拾圓也

一、募集ノ商標ハ右二種トス
一、募集期間ハ七月一日ヨリ同月卅一日迄
一、募集區域ハ朝鮮全土トス
一、圖案用紙ハ縱四寸六分橫五寸二分
一、其他ハ總テ應募者ノ任意トス
一、發表期ハ大正七年八月十日トス

稻姬　河野正宗　灘勝　釀造元　群山港横田町　河野酒場　電話二六番　振替京城二四八三番

暑中休暇

朝鮮からの御みやげには
朝鮮人蔘が一番よろこばれます

ソレニハ

信用。生産高共に第一として
内地のどんな田舍でも
能く知つている本社の

謹製

精撰　朝鮮人蔘

朝鮮　純人蔘精腦

美術鑵入　ミツワ　カシワ　人蔘水飴

が一番よく喜ばれます

定價

人蔘（百五十匁）	
甲	十八圓
乙	十五圓
丙	十二圓
丁	十圓
戊	八圓
己	六圓五十錢

精腦	
十日分	一圓
二十日分	二圓
三十日分	三圓
六十日分	五圓廿錢
九十日分	七圓

水飴	
大鑵	二圓
中鑵	一圓
小鑵	五十錢

此際の大特典

一、七月中定價の一割引
二、十圓以上一割五分引、三十圓以上二割引、五十圓以上二割五分引
三、内地へ御持歸りの方中届け先御指定あれば當社に於て關税納付の上御屆け致して置きます

朝鮮製薬合資會社　京城長谷川町五八　電話一三二〇八　振替京城三八〇九
東京支店　牛込白銀町一九　電話番町五四一　振替二四五二五
下關支店　下關丸山町一八六　振替福岡九六〇七

○國勢調査に就て（二）

工藤國勢調査課長談

國勢調査の方法に靜態調査と動態調査とがある靜態調査とは一定の時を限り人口及び人の活動力を知る方法で有て民力と云ふ者を或る▲特定の時間 で横斷し横斷面に就て內容を知ると云ふ方法である從て之を行ふには原則として仕事をやめさせて民力の靜態にある場合に調査しなければならぬ爲に之を度々行ふ事は到底事情及費用の點に於て許さぬ今一つは動態調査であるが之は普通時々刻々に移動して行く有樣に就き其流れに從つて調査をして行く方法である夫であるから何年目と期間を定めて靜態調査を行ひ其中間は動態調査を常々行つて聯絡すると云ふ事が適當な方法である今回行ふ可き國勢調査は實は其

▲靜態調査で 朝鮮に於ける民力の活動力如何を知り之に依て完全な動態調査をも行ふ基礎を造る譯である一體此の人口調査なるものは古くから行はれたもので西洋では夙くバビロンの時代に行はれたと云へば約三千年の昔に始まつて居る支那は猶早く四五千年前禹の時代に行はれてゐる日本では奈良朝時代の頃戶籍の調査をしてゐるそれ以後も時々之を行つてゐる埃及では古くから五年に一回十年に一回の靜態調査が行はれてゐる尤も埃及の此調査の主旨は稅金賦課の爲めであつて今日の調査とは趣意に於て異なつてゐる

▲今日の如き 調査の西洋で始めて行はれたのは百年位前からの事で其頃から純然たる職業的調査の行はれた事もあつたのである此の靜態調査は何年目に行ふが適當であるかは學者の議論のあるが大體に於て學者の說は五年に一回行ふ事を以て適當なりとの事に一致してゐる西洋でも毎年行つた處もあり三年に一回五年に一回或は十年に一回行つた處もあり區々として居るが萬國統計學會は五年に一回の靜態調査を要求してゐる朝鮮に於ても五年に一回やりたいとは思つてゐるが種々の關係上

▲十年に一回 と定める事になつたのである而して其之を行ふ日時は大正九年十月一日午前零時の狀態を調査する事になつて居る之を十月一日と定めたに就いては深い意味があつての事ではなく秋は比較的人心が落付いて移動の尠い時期である事と午前零時は睡眠時間で何人も靜謐な狀態にある時間であるから斯く定めた次第であるが偶然にも之が併合記念日當日に相當してゐるから奇である此の日は併合十年目に當り十年目に國勢調査と併合記念日が來る事は頗る面白い事であると同時に又

▲併合十年目 は總ての催しは國勢調査の爲めに出來ない事になるのは遺憾であるとが又西曆千九百二十年で西洋の國勢調査の年次とも合致する事になる

◇ネムスキー中佐

哈爾賓に在りしネムスキー中佐は義勇兵別働隊編成其他重要用件を帶び十三日夜長春通過朝鮮經由東京に向ふ筈也（長春特電）

◇有松長官動靜

有松拓殖局長官は十三日午後一時五分著元山四時永興に向ひ直に歸元せり十四日朝歸京の豫定也（元山特電）

◇澤代議士南下

代議士澤來太郎氏は十三日夕來安一泊し十四日發南下すべし（安東特電）

○高粱堆貨增

[illegible]價を見越し買煽りつゝある[illegible]

[illegible]二萬一千四日九十八噸を最近の記錄となせるが十三日[illegible]北同丸二百九十五噸青島へ高砂丸は困難なり向奧地より埠頭へ到著[illegible]ある數量は五六百噸[illegible]

○將來の大總統

副總統選擧難

近く來るべき正副總統選擧問題に就きては擁護派說百出して殆んど其眞僞を捕捉し難き狀態に在り曰く徐世昌曰く馮國璋曰く段祺瑞曰く曹錕曰く張作霖曰く岑春煊曰く陸榮廷と屈指に遑なき程なるが徐氏の總統說は比較的有力なる者の如く南方亦敢て異議を唱へざるに似たるも性來淡泊なる徐氏は此變轉極まりなき難局に身を投じて自ら煩惱を求むるを欲せざるが如き傾向あり隨つて將來徐氏若し選擧されたる後固辭して就職せざるが如き事あらんか北職權は約法に據り當然副總統の代行となるべき者なれば安福倶樂部が之等の呼吸を按じて殊更に徐氏を推擧し副總統に對しては特別の注意を拂ひて未だ之を發表せざる亦故なきにあらず目前噂傳されたる曹氏副總統說の如きは此等の消息より推す時は到底實現し得べくもあらず即ち曹氏一度總統の職權を代行せんか段氏は當然其下風に立たざる可からざるも之到底段氏の忍び得る處にあらず又張督軍の如きも軍兵を擁して屢々派兵入關せしも或は大兵を南下せしめて北方主戰の貫徹に努力し北勢力決して曹氏の下にあらざるのみならず數々徐樹錚氏と謀り副總統たらんとするの野心を藏する事一日に非ざれば之亦曹氏の命に甘んずべしとも思はれず されば副總統の一席は總統以上に困難にして或は徐段正副總統となり梁士詒氏或は徐樹錚氏を總理に推し前陳の如き事情の下に段氏の總統代行となり茲に純然たる段派政府の樹立を觀るや測るべからず

◎飛行郵便と地下電線の必要

這回中國筋の通信障碍に就て

某當局者談

今回山陽道並に山陰道に於ける霖雨は十一日夜來の事なるが雨量非常の者なりしらしく其被害は交通に與へたる程度に於て少くも

▲未曾有と稱し 得る如し而してその復舊期の見込み立たざるため郵便物の如きも小包等は別とし普通郵便は下關と德山相互間に海路輸送を行ふ事となれり海路輸送も就航船の設備良好に行けば山陽線の汽車托送に比し五六時間位の遲延にて遞送し得らるべきが要するにその海路輸送をなす時期に達するまでの不利不便は甚だしく又電報の如き殊に朝鮮にては最近電報增加のため電線の能力一杯となりゐたる矢先大連佐世保間海底線の不通あり一日數千通の發著を突こして激增し一般電報の延滯甚だしきに至れる際

▲又復此の災變 に遭遇せる事とて所謂泣き面に蜂以上の狀態となり止むを得ず、る場合に於ける最善の處置として電報は復舊見込のつくまで下關郵遞の方法を執るに至れり要するに天災は毎年若くは幾年目かに非常の度を以て發するものに付右に對應するためには相當の設備を必要とすべし乃ち水害地震等の場合列車不通となれば直ちに飛行機を以て郵便の遞送をなす如きは最も機宜の處置なるべく現に遞信省には此種の計畫あるやに聞くがその實行の速かならん事は何人も之れを衆望する所ならん又電線もかく

▲故障頻發して は社會の進運に伴ふ將來通信利用力の增加等より考ふるも地下線とする必要あるべし唯地下線とするにはその經營に莫大なる額を要するため實行は容易ならざるべきも窮局はそこに到達せしむるを要せん何となれば目下の如く一本の電柱に十數線の重要線を架しては出水等のため若しその電柱の倒潰にあへば全線不通に歸す而して故障判斷明し復舊工事を施さんとするも若し出水等のため修理に手を盡し能はずんば遂に如何ともする能はざるなり又如斯例は尠からず更に

▲漏電等のため 霖雨にあへば通信力の減殺少からず之等の故障を防ぐには地下線の外途なき如し

大阪より

▲輸出棉糸不況 支那は農繁と當市場の高値の爲め大體不振なれど兩三日來漸々出合あり八月頃に至れば少しは景氣付くべきかの見込なり南洋は不況なれど印度は細物好況なれど這は主として印棉高價の爲安値に引合あるのみにて市價高騰すれば又杜絕すべし而して要するに目先好勢の見込薄しと云ふべし

▲米禁鐵と輸入增 米國の第一回鐵禁輸に次で最近又諸種の品目に亙り殆く禁止したるが其發令は未だ勵行せられざるもの、如く六月下旬鐵輸入高鐵地錠條等板類四百八十二萬二千圓に上り前年同期三百四十二萬五千圓に比し約五割を增加し又大阪倉庫在荷鐵材は千八百二十萬五千圓にして前月より百六十八萬二千圓を增加し毫も減少の傾向なく寧ろ增加の趨勢なりと

◆本邦の水產物と英國

▲蟹の輸出 千九百十四年中英國の輸入に係る主要產物の種類及び價格を擧ぐれば鰊油漬約千萬圓鮭罐詰二百萬圓其他の魚類罐詰三百萬圓にして又時局勃發以來其輸入數量の點に於ては大なる增進なきも諸威漁場の減獲、勞働者の缺乏並に市價昂騰の爲其價格の點に於ては著しく膨脹を來せり而して右列擧魚族中本邦に於て今後最も發展し得るものは鰊及び鮭等なり又蟹は米國產地ロブスターの不漁の結果供給激減し其市價亦頗る不廉となりたる爲英國にては右ロブスターの輸入禁止に出でたるを以て其代用品として本邦產蟹の需要を助長せしめ從來米國行批約六七割を占め英國には漸く三四割方の輸出に過ぎざりしもの最近全く其地位を顚倒するに至る盛觀を呈しつゝあるも由來蟹は他の魚類と異なり其漁獲高殊に不安定にして本年の如きも當初大なる期待を以て迎へられつゝありたる豫想と全然反對に却つて昨年に比し大なる減退を示す如き狀態なれば此品種にして確固不動のものにして大なる望みを囑する能はざるなり

▲鰮油漬地位 依つて今少しく英國に於ける鰮油漬の消費狀勢並に本邦の供給方面に就て觀測せんに如上英國輸入高の千萬圓は之れを三年前の七百萬圓に比較すれば三割の增加にして年々一割五分方の消費增加率を示しつゝあり而して一方其供給國は從來佛蘭西、諾威、葡萄牙、西班牙、亞米利加等なりしが供給漸及び相場の不廉なりしため其嗜好未だ高ほ國內に普遍せず一方又亞米利加の如きは自ら年約二百萬圓の鰮油漬の製造をなすも殆んど其大半を自國にて消費し此外西班牙、葡萄牙、佛蘭西等より年々約三百萬圓の輸入を仰ぎ居れり故に鰮油漬は啻に英國のみならず米國に於ても需要は益々增大すべき運命を荷ふものと云ふ可し 顧つて本邦を顧みれば本邦は實に世界第一の鰮產國にして年々約一億五千萬貫以上の漁獲高あり殊に又從來並に現在輸入に對し米國の棉實油の禁出、勞供給不足なるより當業者中之が代用品としてチリブ油以外の研究に努力する所ありたるが最近に及び愈々從來精製使用せられざりし落花生油又は胡麻油を初めて本品に使用せらるゝに至れり此種製品の成績を見るに英國に於て其味の良好及價格の關係上盛んに使用せられつゝある棉實油に比し香味品質共に更に優良なるものあれば本邦は印度支那其他南洋方面に其供給地を控へ居ると相俟つて價格の點に於ても又數量の點に於ても極めて好望なれるを以て今後鰮罐の漁然肥料等に使用せず精製新油の用法を施し普く英米に紹介せんには本品は偉大なる歡迎を受くべし蓋し品質に於て現在の處にては佛蘭製品と同一の待遇は受けざるべきも價格の點に於ては我は遙に低廉なればなり又一方米國及諸威品サーヂンは鰮を使用するものなれば品質は勿論價格の點も到底我と競爭を決すべくもあらざればなり

▲鮭鱒の發展 鮭鱒罐詰の好望なることは今更架說する迄もなきが勘察加本年の漁獲權は邦人の手に歸し來るべき日露漁業條約改正の時に及んでも目下の處大なる變化なかるべく從來の條約を繼續せらるべき形勢にあれば今後は年約百萬圓以上の製造高を見ること難事にあらざるべし而して一方從來殆ど英國のみに局限せられしもの販路の更に增大するのみならず米國南米歐羅巴大陸方面も益々開拓せられつゝあるを以て今後は更にますます大なる發展を遂ぐべし又鰈鮭は鮭鱒に味の點に於ては格別大差なきも色澤劣るため從來歐米に於ては習慣上餘り使用せられざるもこれを只支那向鹽漬の輸出に止めず更に罐詰として英米等に紹介するに於ては勘察加產中の多數の漁獲高と相俟つて其輸出額は大いに期待するに足るべし

[illegible]組成に著手したるが何分物價昂騰の影響を受けて使用炭の價格のみ[illegible]膨脹を來すべく結局物價昂騰の騰貴に因りて膨脹すべき[illegible]

[illegible]相當額は既定の建設改良工事[illegible]

▲染料界平穩 染料界は需要一段落を告げ閑散期に入りたる爲め市況頗る平穩にて相場は左したる高下なく保合の狀を呈し居れるが秋季需要期も追々切迫しつゝあるを以て八月に入らば多少の活氣を呈するなるべし

▲護謨益不味 原料護謨は米國の制限依然たるより產地停滯漸く甚しく相場益々軟弱にて從つて內地スモーク五十八錢大低落を來し原料商は採算不引合なる爲め殆んど休業同樣なるが產額制限は殆んど不可能とも云ふべきを以て輸服の緩和によりて歐洲方面へ輸出されざる限り益々生產過剩を來し近き將來に相場の反撥は絕望と云ふべし

內地人郡守（十二）

（晉州）太田德太郎氏

氏は福岡縣三潴郡久間田村の人明治卅七年の帝大法科出身にて三十八年京釜鐵道に入社し四十年舊韓國政府の財務官に就職併合と同時に慶南道廳地方主任として就任以て今日に至る理解力のある聰明な良郡守であるとの評がある（晉州）

▲藥界市況 各品共一般に底撥的商勝氣配にある藥種界は樟腦の上氣更に二割方暴騰の二百五十圓を呼び沃度ホルムは全然在荷底淡の有樣內地生產八月分迄先物契約濟なれば一斷張り夫でも一部の取引としては一度十一圓出硼砂は二十八圓五六十錢の鰻上り石炭酸は染料界の振はざるに伴ひ今一呼吸二圓臺を

▲米綿輸出五年 米綿輸出五箇年の消長を見るに大正二年乃至三年の各年期を一期とする輸出高は九百十八萬四千俵にして翌三四年の一期は八百五十四萬千俵、四五年は六百廿五萬千俵となり二百三十一萬俵方の大減少を示し五六年は更に五十萬俵を減じて五百七十三萬千俵となり年々減少率を高め五六年は戰前二三年に比し六割強三百四十五萬三千俵を激減せり六七年の輸出高は作柄不良なりし爲輸出は四百餘萬俵見當なるも未だ精確の統計なし

▲刷子界好況 刷子界は米國の制限に除外されたる爲昨今大口の註文入込みたるより活況を呈し原料豚毛未曾有の高値を唱ふるも影響なく製產に追はれ居れる有樣なるを以て前途倚ほ好況を保持するなるべし（大阪支局）

◎清津上半期貿易

本年一月より六月に至る上半期清津貿易は輸移出八十三萬四千二百五十五圓輸移入百九十一萬九千三百四十五圓計二百七十五萬三千六百圓にして之を前年同期の輸移出二十九萬九千五百六十圓輸移入百十三萬二千二百十四圓計百四十三萬千七百七十四圓に比すれば輸移出に於て五十三萬四千六百九十五圓即ち約二十八割を輸入に於て七十八萬七千百卅一圓即ち十七割強總額に於て九割強の激增を示せり

◎夏蠶發育良好

京畿道管內に於る夏蠶は六月下旬より掃立を開始し本月十日前後全部を終了し目下三齡中のもの大部分にして孰れも育狀況良好なり

◇借款反對鎭撫使

森林借款反對猛烈なる爲め政府は鎭撫使として中將陳文運氏を派遣する事となり同氏は十四日來吉する由哈爾賓より雷震春氏十三日來吉軍事會談の筈なるが 問題は如何に解決するや不明なり（吉林特電）

◎軍司令官動靜

沿岸部隊巡察中の松川軍司令官は十一日新義州著同地に滯在せり

◎下關殖銀株好況

既報の如く內地に於ける殖銀株は非常の好人氣にて下關にては百十銀行と第一銀行支店に於て取扱ふこととなり來る十六日より十八日迄の申込なるに既に發表前に於て續々申込ありと

●偕行社衞生會講話 十三日午後七時半より偕行社に於て有賀軍醫正の傳染病豫防講話ありたり

◎院線驛改稱 鐵道院線中央本線猿橋驛（山梨縣）を「さるはし」と改稱八月一日より實施すべし

◎笠原氏快癒 背部の癤を切開し總督府醫院に入院中の笠原三井次席は此程快癒十日より出勤せり

人事

▲黑板文學博士 十三日夜元山より京巴城山へ

▲大塚日銀檢查役 十三日夜入京天眞樓へ

▲米山宮源太氏（清津稅關支署長） 同上不知火へ

▲伊東莊吉氏（清津貿易商） 同上山本へ

▲栗村欣家氏（山口縣實業家） 同上吳服旅館へ

▲大阪小學校長視察團 大前校長外六名同上

▲田村譽三郎氏（東京實業家） 十三日夜入京

▲北海道小樽高商視察團一行 十三日後九時四十分發奉天へ向ふ

百聞百適

歐洲大戰は副產物として諸種の悲喜劇を演出して居る▲英國のマウンデル夫人は三年前陸軍省から出征せる夫の戰死通知を受けた▲人間不足の今日若い一生をむざむざ後家さんで暮すも自分一個の上よりも國家の上からも不經濟千萬だと思つたか何うだか▲其處迄は知らぬが兎に角若い男からの結婚申込を容れて愈々式を擧げやうとする二三日前▲突然死んだ筈の夫から手紙が來たので吃驚しいやら殘念なやら▲何うしたかと問合せて見ると戰場で死人として捨てられたのを敵に見出され終に捕虜になつたのだ▲獨逸が食糧や其他の日用品に缺乏して居る事は何人も知て居る處だが▲斯うなつて來ると人間の淺ましさ女迄が氣質が荒々しくなつて來る▲獨逸の死傷兵や捕虜のポケットから往々取り出される本國妻女からの手紙を見ると▲良人に掠奪を強要して居るが又た女の好む金銀珠玉なら兎も角であるが▲本國で買へない日用品や食品を見付け次第に掠奪つて來て呉れと云ふのである▲之で見ると獨逸の戰鬪の殘ましい心が察せらるゝではないか▲獨逸社會黨に云はすれば斯る悲慘な人間を造るのも皆獨帝と軍閥とであると云ふのであらう▲お氣の毒樣乍ら獨逸同士の喧嘩なら勝手になさい▲だから此方は獨逸征伐をやつて居るのだよハヽヽ

◎明十五日締切

第六十九回勸業債券

一等割增金二千圓附拾圓券賣出

初回くじびきは本年九月にして貳千圓十六本百圓貳百本 其他多數の割增金あり

三越特撰の鰹節・銘茶

◇右潤澤に取揃へ居り候に付多少に不拘御注文奉希上候

鰹節・銘茶の商品券

◇御贈答用の御便利を相圖り體裁よき箱入として（金壹圓以上）調進仕候

但し此商品券は鰹節、茶其他當店販賣の何品とでも御引換申すべく且東京、大阪、大連、京城の各當店共通に有之候間御用の節は御重寶と奉存候

京城本町 三越吳服店 電話六〇一二番

アセモ タダレ タイトク 靴ズレ等 皮膚の損傷を豫防治療する

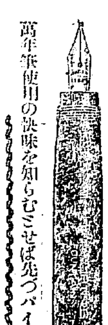
強き殺菌力と皮膚の形成促進の特能ある

シッカロール

本品に依り年中の皮膚を保全せらるべし

全國各地藥店販賣

東京 大阪 和光堂



パイン萬年筆

商品を吹聽するにこの幾まで誇張を要するかパイン萬年筆に就ては一語の誇張を要せず萬年筆として備ふべき一切の効能と特徴とを遺憾なく發揮して品物夫自身が自ら其眞價を語るべし

萬年筆使用の快味を知らむとせば先づパイン萬年筆あることを御記憶遊ばさるべし

最新鍛用式 六圓八十錢

司法大臣 松室致閣下題字

京城地方法院所長 法學士 加古貞太郎先生序文

辯護士 法學士 小笠原寬先生序文

前韓國財政顧問附事務官 法政大學校友 關西大學校友 越智唯七編纂

新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

大正七年一月一日現在 正誤表附菊クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓郵稅十八錢

本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたるものにして一目瞭然 道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日鮮、清、西曆の詳細なる對照年號を示し管區數、人口戶數、道路里數、各道の廣袤交通、產物名稱舊跡溫泉其他の概況を揭げ

本書は官廳執務上を初め政治家、實業家、學者、交通、產業其の他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺くへからさるの必携書なり

發賣元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

父富之助儀豫て病氣の爲香川縣に療養中の處養生不相叶去月二十一日同地に於て死去致候既に同地に於て葬儀執行仕候に付十五日午後二時京城天理教支教會に於て祭典執行可仕候間御參拜被成下度此段御通知を略し諸君に謹告仕候

大正七年七月十四日

嗣子 山本省二

妻 山本いし

親戚 一同

恩給年金立替 三年分迄無保險 京城若草町 金光教會裏手 五年半迄 利一步 電話二三九一番 國江商會

名灸 佃眼 術應用 肺病 脊髓 子宮病 腦病 胃腸病 喘息 吃音 悪癖 脚氣 京城黃金町三丁目 電話一〇八七番 郵便所西へ三軒 大坪玄道

●かし土藏 新築五坪二ヶ所あり御入用の御方は（電話二三一番）又は旭町一ノ一中村方へ御申込被下度

●融通 月收の御方へ極秘迅速に御融通可仕候 ●京城大和町三の三二（旭町前）起木屋

看護婦及見習數名至急募集す 姓名 仁川支局

店員入用 廿一歳以上市內保證人要 本町 ウツボヤ商店 電二五二七

●住宅貸受たし 建坪十坪內外、空地ある處午後六時後來談ありたし（姓名在社）

●賣宅地 [illegible]

京日案內 普通一回前金一圓 特別五拾錢增 [illegible]

自神洋行 京城

鐵 鋼材 浪板、平板 針金、洋釘

新田帶革總代理店（物價表御一報次第無代進呈）

ペイント、油類一切 コークス、セメント 耐火煉瓦、モルタル スコップ、シャブル 帶革、ロープ 機械、工具 附屬品其他

山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通振替三〇〇 京日代理部

京城本町三丁目 種苗農具肥料商 京城勸農園 電話七〇四番振替京城五六番

營業案內 種苗の部 農具の部 と有之候御入用の方に分送呈

[illegible]もあらず七月に入りて[illegible]頭に於る滯貨は六月十六日の[illegible]見るは利濟丸百五十噸[illegible]鐵道院の各局に於て夫々調査[illegible]加は幾何も期待し難き狀態にあり[illegible]あるべく或は公債募集[illegible]

◎八天下の西伯利亞
ザバイカル地方に黒旗團
◇チタ地方のセ軍、ニコリスクのチ軍
赤旗!!黒旗!!白旗!!青白旗!!

最近露報は漸次チエツク、スラヴツクの優勢を報じ東部西伯利のイルクツクに、過激派の勢力は恰もあるかの如くである一方ザバイカル州に

◇黒旗團の 振ふあり尚ニコリスクを占領したる同軍はセミヨノフ軍との交渉をさけ極東に過激派との獨立を見て、此處西伯利亞は八天下の割據となつた。それについて最近までユ、ヤクタ地方に滯留してゐた某商客は語る

◇ザバイカル 地方を旅行するには矢張總て同地の赤衛軍の許可證票を得なければ、汽船や汽車の便を得る事が出來ぬ。けれど內實はチタ市、イルクツク迄はセミヨノフ軍の勢力範圍である此地方の人々は皆セミヨノフ氏に信服し、常に同軍の勝利を祈り成功を希望してゐる、これはセ氏が種族たるベリヤード族の出でいふ點からでもあらうが、またイルクツク以西に於ける例の赤衛團[illegible]は即ち

◇無政府黨 の勢ひも亦侮り難く漸次擴大されつゝある、出發前十數日間イルクツク及び其の以西からの電報が來ない所から察すると、此黒旗團の勢力が徐々擴張を極めてゐるのではないかと思はれる、其後新聞の途中聞く所に依ると同黨は既にオムスク、クラスノヤルスク、ニーズウヂンスク、マリースク等の諸都市を占領した

◎黒旗軍と 赤衛軍との衝突は、日に日に近づいてゆくらしい狀態である、何にしてもこの狀態の永續は聯合國側の爲に根本的に有利なものではなく此處に確立された行動が要求されてゐる樣だ

◎五萬圓の人質
富豪の息馬賊に 捕はれて逃げる

青島河南高陽縣楊家莊三男楊錫田(二〇)は即墨縣に於て馬賊十名の爲めに人質に取られ人質に取つたが五萬圓出せ出さぬ時は可哀相だが殺した上貴樣の家の前に吊るして遣るから六日迄に確答せよと要求して來たので親達の落膽一方ならず大切な息子の命を五萬圓の爲に殺しては大變と早速金の工面に奔走してゐると五日夜人質に取られた息子の錫田が色蒼褪て歸宅した實は馬賊十名の爲に囚はれたが丁度五日の夜番人の賊二名は强か酒を呑んで泥醉したので隙を狙つて逃げ出すと馬賊十餘名は發砲しつゝ追跡したが高粱の間を隱れかくれて虎口を脱し漸く戻つてきたとのことに涙を流して喜びあつたとのこと(青島)

◎千圓帳を拾ふ

京城苑洞の米穀行商田中房次郎は十二日午後九時半南大門通より明治町に通ずる角にて縮緬帛紗に金額九百八十六圓ある十八銀行支店の預金帳と印章小切手等這入居るものを拾得し其の旨本町警察署に屆出でしが落主は旭町一丁目市川某の妻うのなること十三日判明し同女は報勞金を拾ひ主に謝禮して件の物品を受取れり

◎當分の內 給水制限を行ふより仕方ない
―給水能力不足と使用水量增大
―貯水池へ送る水量が池から市民に流るゝ水量より尠い

京城水道は七月十三日以後當分の內給水に制限を加ふる事となつた即ち毎日午前は五時に給水を開始し十時に至つて給水を停止する午後は三時に給水を開始し九時に給水を停止し夜間斷水を以て翌日の

◇午前五時給水 を開始して毎日繰り返す筈であるが給水の制限停止の時間は土地の高低に因つて多少の遲速はどうしても免れ難い所である之は貯水池の水位が下落し給水開始の時刻から總ての鐵管內に水の充實しない內に片つ端から水の汲み取りをやる結果

◇既定の水壓を 生ずる暇がないのである其れで低地の方には水壓等に據らず自然の理法で水は流れて行くが少し高臺になると壓力に據らなくては流るゝことは出來ない左程迄に京城の水道は給水の能力而設備機關の能力に不足を生じてゐる左程迄に京城の水道に對しては使用水量が增大してゐる從つて激しいのである即ち目今の京城水道給水能力は常に記す通り四十五萬立方尺しかないので決して何所の水道の如く

◇水源の水量に 不足を告げてゐるものではない水源は纛島の漢江に在るから漢江の水の涸渇しない限り水源の水はいつも漲つてゐる筈である唯だ吸水喞筒が少い爲めに此の豐富なる漢江の水を水壓を付くべき貯水池に迄で運ぶ事が出來ない所や運ぶ事に於て手温るい譯である貯水池からは直ちに市民に給水すべき配水管によつて盛んに汲み取られる水源から貯水池へは吸水喞筒により送水管を傳はつてせつせと送水するがどうしても

◇貯水池へ送る 水量が貯水池から市民に分つ水量よりも尠ない事になつてゐる結局貯水池の水は給水を開始すると同時にどしどし減つて行く已むを得ず給水を停止して貯水池に水の溜るのを待たなければならない譯になるのである、だから水を豐富に使はうと思へばどうしても此の吸水喞筒と云ふ樣な機械の能率を增進せねばならぬ其れには

◇多大の經費を 要する譯で急に制限があると云ふ樣な段取りで目今の京城水道施設としては市民一般が暫く辛抱して水を儉約するより外に途はないのである京城水道停止時間中は仁川水道の細給水を送水することにはなつてゐるが僅に十三四萬立方尺であるからとても全部に行き渡る事は出來ない事に爲る

◇昨今京城市民 が消費しつゝある水道水量は京城水道の方から約四十六七萬立方尺、仁川水道の方から十二三萬立方尺合計約六十萬立方尺である水道當局としてもあらん限りの方策を盡して目下の京城水道施設を以ては最善の努力を爲しつゝあると云ふ事である

◎元山の大相撲

(雨天)の爲め順延し居りし東京相撲は十三日初日を開けしも又復降雨の爲め入掛となりたり(元山特電)

◎仁川の海水浴場
―愈々今十四日開場すべし
諸般の設備成り碧水は白砂を洗つて浴客を待つ
海へ!!!

設備を急ぎつゝあつた仁川の海水浴は愈々諸般の設備完了して今十四日午前十時其の開場式を擧ぐる設備の一斑を再び紹介すれば先づ二千餘坪の浴場には周圍に鐵網を繞らして婦女子の爲に危險を防止するの設備を施し浴場の中には初心者の爲に數十の浮環を浮かして遊泳を易からしむる而して其の外部には常に一隻の傳馬を備うて萬一の救助用に充つる等危險を防ぐ上に於ては萬遺憾なきを期して居る

◎陸上の設備 として は脫衣場に數千坪のバラック二棟を建設し一つは婦人用一つは男子用と區劃するは勿論淡水供給場をも設けて何時でも浴後の洗身に便利ならしめ更に料亭『港』の出店は貸席の有償脫衣場を經營して辨當或ひは飲料水と浴客の爲に特に便宜を計る事當に依り斯る低廉に提供するの準備を爲して居る殊に本年は此の浴場の設備以外特殊の計畫を建て、海に親しむ客の爲にユフの新しき準備を爲す事となつて居る其の一つは甕に放置された木村氏の

◎別莊を開放 して之を一般の浴客に提供すると云ふのである茲では何人を問はず休憩自由に體勝手で勿論其の使用料は要求せぬ若しビールの泡を吹き簡易料理に舌鼓しようと云ふ者あらば經營者の港は頗る勉强して其の需めに應ずると云ふ至極輕便主義を執つたものである今一つは

◎放魚池設備 で即ち浴場の裏手に當り永宗の翠色を眺むる堤が根に適宜の施設をしてそこに美しい鯛や大きな鰻を初めあらゆる魚類を活けて手網掬ひをやるのである之は婦人小供にも容易に出來る樣にしたもので要は長柄の手網を以て短時間に泳ぐ鯛や鰻を掬ひ揚ぐると云ふのだから面白い事此の上なく市場の板の間に長くなつた魚より外見た事のない者には水族館以上の感みがある而も掬ひ上げた潑剌たる魚は即座に料理に應ずる料理人の用意もあるから沖の白帆を眺めつゝ舌皷打つもよし家の土産に持ち歸つて晩餐の卓に味ふも宜しい之は京城の明治屋から出資して近く設備する事になつて居る

◎汽車賃割引 は既報の如く京城から仁川海水浴場への往復客に對しては土曜日曜に限り往復の半額回數券の發賣を爲しつゝあるから今年は仁川の海に遊ぶには頗る便宜に且つ廉い經費で一日の凉遊が出來る

◎渡船賃金は 一人前六錢小供は三錢と決定して居るから此の料金をさへ出せば棧橋の何れからでも乘るには制限がない今十四日は午前十時から之等の設備を濟まして其開場式を擧げ上原總官の祝辭朗讀式があり有志の泳ぎ初めをする筈である

◎動物園の人氣者 河馬
◎血の汗流す
餌は植物性の物許り
活動役者のデブ君そつくりだ

◆クリクリと太つた體軀、太くて短い肢、平つぺたい鼻、小さくて飛出た眼――河馬は何處迄も不格好に出來てゐるが、それ丈愛嬌に富んでゐる、これをものに譬へると先づ活動寫眞でお馴染のデブ君か愛犬のポンチ繪の本兵衛さんか

◆原產地は阿弗利加、日中は殆んど水の中で暮し鼻先だけをポカリと水面に泛べて遊弋してゐるが夜になると陸に上つて餌を漁る、猛獸性を帶びてゐるから外敵に遭遇すると頑强に抵抗するが多くの場合水の底に潛り込みこんな時の用意にこかねて掘つておいた穴の中に隱れて仕舞ふ、長い奴は五分位の潛水に堪へ得る相な

◆肢趾は四つに分れ、趾の一部は蹼に結合してゐるから泳ぐのに大層都合が好い、都合が好いと云へばその眼も普通の動物よりは角膜が厚く少々位は木片岩角にブッ付けても大丈夫である

◆『血の汗流す』と云ふ事があるが河馬は本當に全身から血のやうな赤い汁を分泌する、動物學者は俗にこれを血汗と呼んでゐるがこの血汗の主成分は脂肪である、恐ろしく力の强い奴で小舟を引つくり返す位はお茶の子サイサイ、既に

產地では河馬狩の土人が好くこの手で遣られる相な

◆昌慶苑の親河馬は大正三年頃、象と共に獨逸のハーゲンベック動物園から買入れたもので人には好く馴れてゐる、先日仁川の動物商人に四千圓で拂下げた河馬はこの河馬が共進會の當時生んだ第一回の仔である、姙娠期間は馬と略同じであるが河童の子は矢張り河童でその仔は胎內を飛出すと直ぐ淺瀬に泳ぎ廻ると云ふから面白い

◆口を開けると人間位一呑にし相だが餌は悉く植物性のものばかり、動物園では毎日青草十五貫、馬鈴薯二貫五百目、フスマ一斗に糠五十目を交ぜて與つてゐる、食ふことにかけては象の次であらう檻の中のタンクの水は一週に二度宛取替へて遣るのだが一つのタンクに三百石からの水が入るし冬は相當の溫度に溫めねばならぬので隨分厄介だとの話し

◎漁場荒しの賊
傳票を僞造し

廣島縣沼隈郡鞆の津生れ伊藤闢之助事藤政吉(三五)は外一名と共謀し六月十六日以降に全南羅老島の漁業林兼組支部にて魚の受け渡し傳票用紙五十枚を竊取し之に必要なる記入をなして林兼組巨文島支部發行券の如く僞造し同組の南灘部三東面論助里出張所より百四十六圓統營郡達梁面蛇梁島出張所より三百六十九圓外一箇所より二百五十圓を詐取し總政吉は其金五百廿餘圓を携へ三千浦を徘徊中此程三千浦署の手に逮捕現金は押收の上目下嚴重取調中

◎惡辣なる詐欺

全南咸平郡平陵面元仙里徐仁泰方に五月末京城鍾路警察署の刑事巡查部長中相熱(二九)なりと自稱する男が出張し汝は賭博罪に依り之れより京城に引致するにより同行せよと捕繩を掛けて引き立て同夜松亭里の宿屋李明瑞方に宿泊し翌朝所持の金側懷中時計一個及び現金を合せ二百八十圓ばかりの品を預かると掠奪し同夜殊更同人を追放して翌朝松亭駐在所に至り刑事被告人徐仁泰が逃走したるに依り搜査し呉れと犯人を依頼し其の條件の金品を拐帶して行方不明となりたるより咸平憲兵分遣所より鍾路署に刑事と稱する者の身元を照會せしも左樣の者なきこと判明し目下犯人嚴探中

◎小舟を竊む

全南莞島郡青山面道淸里横井玉吉方に雇はれゐたる漁夫野崎米太郎(三〇)木村鎧吉の兩名は六月三十日夜主家の小舟一隻を竊み母船より漁具十餘點(百六十餘圓)を積み込みて同郡新知面月陽里に漕行き同里の文淳賴に小舟共漁具すべてを五十五圓に賣却したること發覺し米太郎は莞島署に逮捕されしが鎧吉は行方を晦ましたり鎧吉は以前大阪市內の某署に留置されたる際逃走亡したる曲者なりと

◎連絡船の缺航

十三日夜釜山に入港すべき高麗丸は下關碇泊中の聯絡を取りし爲め釜山出港の聯絡船無く缺航となりたれば(釜山特電)

◎中央集散市場廢止 十二日附を以て京城府公示洞五番地中央集散市場は大正七年六月三日限り廢止されたり

◎戰死する もの
―と思つてゐる
◇佛國で戰死した小林氏の最後の手紙

既報去月七日佛國ダンケルク附近の空中戰に於て名譽の戰死を遂げし小林祝之助氏が京都の叔父佐藤見氏に宛てたる書信がこの程到着した、それは五月二十三日ダンケルクの第十四飛行大隊[illegible]からのもので恐らく同氏最後の音信であらうとの事である(京都)

(前略)空中射擊學校に居つた僕は先日無事に修業して昨日飛行隊附を命ぜられ此北海地方へやつて來た

▼▲空中の擊者 になつたよ、是からは僕は並一つだ僕が空中から落ちるか逃げるかとは風前の燈火以上だ併し僕達の飛行機は今の魔世界のオーソリティだよ僕はスパードと云ふは一時間の速力約二十九米突是に至至に近い、機關銃を備へて居るのだが無論一人乘りだ

▼▲鳥の如くに 小さい飛行機だ此飛行機に乘り得るものは飛行家の中の飛行家だ僕は多分戰死するものと思つて居るが本望だ此上僕が望ふべき飛行機はないのだもの久しい間の僕の希望の一つは成功したのだもの――僕がまだ中學に居る頃だつた、何でも構はないからどうかして

▼▲日本一にな つて見たいものだと希望したことがある此夢のやうな希望が今やつと遂げられたのだ別段嬉しくもないがそれでも惡い氣分はしない佛蘭西ではスパードのピロット(操縱者)は若き美しい花と見做されて居るのだから休暇で巴里へ行つてグランブルバーの(京都の京極)をブラ付くものなら巴里婦人等が

▼▲憧憬の的と なる譯だ全く望み次第だ多分瞬間の粹な飛行家の敵手に斃されるのだらう吾兄に宜しく

壹千五百組限り
上等毛布
二枚一組 一圓五十錢
東京市日本橋區本石町[illegible]
[illegible]

忍術
氣合術
忍術氣合術秘傳

[illegible]

とも切り [illegible] 新文社

藥草栽培の好季到來
[illegible]

新式灸術
開業一週年紀念半額
かつけ病には特に効
伊藤灸術專門
本町二丁目朝日町本商店前横通坂下

紹羽織
茶無地、よろけ 格安品 荷主
こまや 植西吳服店
電話四二八番

職業
[illegible]

美髪香油界の横綱
レートーマホード
使つた瞬間から
効果はメキメキ
此の香油で得た
濡羽色の美しい髪と
四邊りに薫ずる
馥郁たる芳香は
夏むき
一層人の好感を
唆ります
東京 平尾賛平

暑氣あたり
吐瀉腹痛に
一番ヨククキ
夏の救急藥!
キヽメ本位の
寶丹
何と言つても夏は寶丹!!
何と言つても夏のクスリは『守田寶丹』であるとは一般の定評であります『守田寶丹』は單なる清涼劑と異り實際の効驗ある即ち『醫治的効果』充分なる懷中藥中の模範的懷中藥でありまして、殊に夏の諸病に對する威力は到底他藥の及ぶ處ではありませぬ。
例年の通り
七月五日より本舖横通に於て一般御通行の御方に一服丹水を差上げます。お通りの節は是非お立寄り下さい
主治効能
●氣付、霍亂 ●中暑日射病
●食傷、水傷 ●過飲、過食
●腹冷、吐瀉 ●消化不良
●下痢、腹痛 ●船車酒の醉
●頭痛、眩暈 ●惡疫豫防
定價 金十錢 廿錢 卅錢 五十錢 壹圓 貳圓
●卅錢以上ニハ優美ナル『寶丹匙』添附
各藥店ニ有リ
本舖 東京市下谷區池之端仲町廿七 守田治兵衛
(振替東京二九八五番)

人事周旋業
百般
萬年社
京城府明治町貳丁目 電話長一八四四番

朝鮮人蔘製藥株式會社謹告
人蔘界の最高權威
本社の人蔘製藥と人蔘製菓
京城本町二丁目
朝鮮人蔘製藥株式會社
販賣部
電話一九八番 一四九六番 振替京城四八四一番
顧問
藥劑師 安井文造
技師長藥劑師 佐伯純治
長崎藥學士 三村親成
醫學士 田阪仁壽
醫學士 鶴田善重
高等贈答品各種市內は御一報次第速達地方は小包を以て御送付申上候

妻の心 三十七

六の九 小林蹴月作 武内桂舟畫

此處で、一寸と櫻井順吉郎の素性と人格とを說明して置く必要がある。彼は、町川家の先代幸右衛門の實弟に當る櫻井金左衛門の次男である。だから、即ち綾子とは骨肉の從兄妹同士になるのである。家督は無論兄が嗣いで居るので、彼は、財產の幾分を分けて貰つて現今では、日本橋の柿木店邊に一戸を構へ、遊んで暮しても好い身分ではあるが、實父や阿兄の光に依て、鎧橋附近の東京商業銀行に出て居るのである。怜悧で機敏で口先が上手で、人に取入る事の巧いのは、彼の最も長所とする所であるが、同時に又、一種の恐るべき陰險性を備へて居る。嫉妬的猜疑的の猫のやうな性質をも備へて居るのである。彼は、何故かして二十七歲の今日まで、定まつた妻と云ふ者を持たない。强て勸むる者があれば『ナアニ外國人なごは三十の聲を聞くまでは、決して妻帶しないと云ふではないか。軍國の今日、四方に活躍して、金儲けを爲すには、妻子なごあつては、反つて足手纏ひだから……』と、世間並の理窟を並べては居るものゝ、その實、決してそれが爲めのみではないので、彼には彼の秘的野心が、平生に絕え間なしに、その胸間を往來して居るのである。秘的野心とは、果して何であらう？彼は今、若龍の詰問に對して『そりや此處で斷言する限りでない……』と、云つたその言の裏面こそ、大いに味ふべき點がないであらうか？兎にも角にも、聲名[illegible]共に隆々たる町川久三郎を窮地に陷いれる事と、町川家の家庭を攪亂せしむる事とは、彼の差當つての主なる仕事ではないであらうか？そして、女隠居の喜久子を、出來る丈、巧に丸め込んで了つて、直接ではないまでも、間接に自分が町川家の財務監督者にならうと云ふやうな下心を持つて居るのではないであらうか？表面から見た櫻井には、毛頭そんな氣色だも見受けられないにも拘はらず、彼が裏面の行動から察して、ちくちくとそんなやうな面白くない[illegible]つたやうな變調が顯はれて來るのが不思議でならない。

單なる一例ではあるが、彼の股肱の臣には、花柳新聞社の柴田何某と云ふのがある。又、彼の昵懇なる友達には、町川と若龍との記事を揭げられた彼の夕刊新聞の社會部長もある。それこれを綜合して見た丈でも、所謂思ひ半ばに過ぐるものがあるのである。それからもう一ツ、彼の秘的行動に就いて云へば、彼は町川家の女隠居喜久子の信用を得んが爲めに、喜久子の隠居面即ちその勝手の財產全部を擧げて、自分の銀行へ預金せしめて置く。そして、他銀行の倍額以上の利子を附して、只管喜久子の歡心を買ふべく努めて居るのである。慾に目のない喜久子は、ほくほくと悅こんで、一にも櫻井、二にも櫻井と、櫻井でなければ、夜も日も明けぬやうに信用して居る。只さへも、人に取り入る事の巧い順吉郎は、到頭喜久子の懷ろ深く、兒となりおほせて了つたのである。近來喜久子が盛んに聟の久三郎を憎み出したのも……久三郎もわるいには違ひないが……一面には必らず、順吉郎と云ふ蟲の加へ手があるからの事で、中に介在まつた綾子こそ、眞個悲慘酷烈な憂き目を見て居るのである。

『櫻井さん、すつかり悄いでお了ひになつたわね。爰、綾子さんに罵つて、貴郎を情夫だと云つたのが、それほどに御迷惑なら、取消しても可う御座いますわ。』

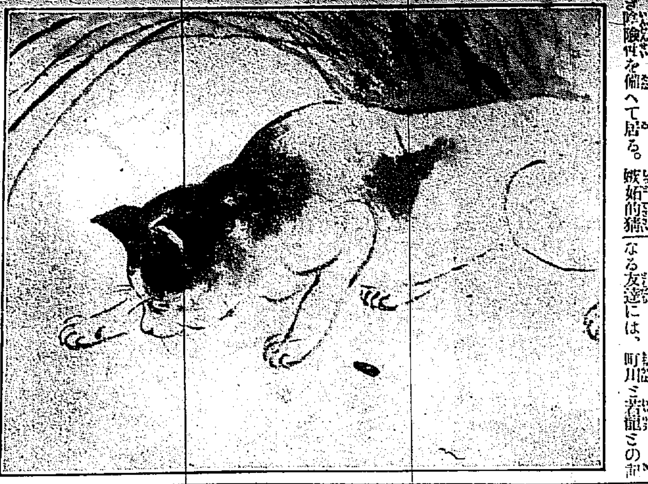
若龍も、櫻井の弱り方が、滑稽でないと見て取つたので、少しは氣の毒な感じも起つたらしい。

『莫迦な！取消すと云つたつて、今更什う爲やうがあるもんか。』と櫻井は、澁々顏にぶつくさ。

『なに、取消して取消されない事があるもんですか。電話口へ綾子さんに出て貰いて、先刻申した事は、ほんの出鱈目ですから、氣にとめずに下さいまし。實は、外にもう一人本統の好い人があるんで御座います……と、斯う云つたら濟むでせう。』

『巫山戲ちや不可ない。そんな事云つたら尙更變に思はれて了ふよ。僕は何しても、若龍君、君とは是つきり逢はんよ。』

櫻井は、兎のやうに飛び上がつて、物々しさうに歸り仕度に掛つた。



◉佛國畫界近狀と將來

古き傳說と長き訓練の下に完成せし世界美術、瀾漫たる佛國にては最近未來派立體派等の運動起れり彼等は從來の

▽…古典的なる佛國美術に代るべき世界來るべし否來る可らずと揚言し居れり甚だしきは其機關雜誌は嗚呼獨のツエッペリンよ速に巴里に飛來せよ而して古典派の繪畫の充滿せるルーブル美術館に爆彈を投下し舊時代の佛蘭西美術愛好者の渴仰せる所謂美術の資源なる物を全滅せしめよなど狂暴なる言論を弄し居れり彼等が何等か新しき

▽…自己を發見せんとする態度は快なれども眞に自覺せるものなるや一朝の迷夢にあらざるか疑ひなき能はず最近我邦の洋畫界は形勢混沌として時には怪畫か繪畫か識別しがたきものあり未來派立體派といへば新傾向なりと迷信的に感激するものあれど其實本家の佛蘭西にてはかゝる

▽…過激派の畫家は全數の二十分の一弱に過ぎず而して一般の美術鑑賞家はもとより之に同感せざるなり印象派の畫家の最近試みつゝある傳說を無視せざる程度に自己發揮は多處に眞の理解を得つゝあるもの、如し將來日本の洋畫家は如何なる道を求むべきか唯善良なる畫を多く見多く知り多く理解し而して

▽…自己の頭にて渾然融和し而して後個性を發揮せば足る尙一步進んで漫りに他の追從を許さざる日本的洋畫の創造即ち國家的繪畫を目的とせざるべからずと先醒師朝したる京都の洋畫家鹿子木孟郎畫伯は語れり（大阪）

◎鐵材益昂進

[illegible]く前途來歲の輸入は見越されざる折柄本邦市場は近來造船界の需要[illegible]鐵材交換會に於る手合せは頗る緊びて三四圓方上騰し更に如何と一般氣の盛んなるか

▲平角鐵も荷薄にて依[illegible]今は四十四五圓より六十圓を唱へ[illegible]物に對しも四五圓騰貴して[illegible]

新刊紹介（到着順）

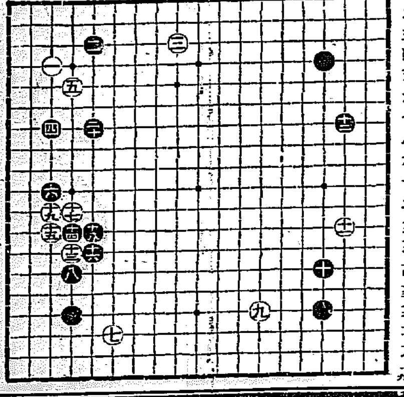
▲人文（三の七） 十六錢 東京小石川白山御殿町一一七[illegible]事務所
▲帝國青年（[illegible]號） 十二錢 東京麴町區內幸町一の四同發行所
▲謠の友（三の七） 十八錢 東京麴町區飯田町三の九能樂書院
▲地方行政（二六の七） 二十錢 東京々橋加賀町九帝國地方行政學會
▲青年界（二の七） 十三錢 東京神田三崎町三の一其社
▲農業雜誌（七月號） 十錢 東京麻布本村町二二一學農社
▲水產界（四三〇） 二十五錢 東京赤坂溜池町一日本水產會
▲戰友（七月號） 七錢 東京帝國在鄉軍人會本部
▲食物の養生（七月號） 十五錢 東京牛込市ケ谷日町五一石塚食療所
▲理財評論（二の七） 二十五錢 東京神田今川小路二の八專修大學內其社

碁戰（一）

（大正七年六月二十三日 京城日報主催於圍碁會）

四段 喜多文子
三子 大久保雅彦

○一 れ四 ●二 よ三 ○三 る三 ●四 れ七 ○五 た五 ●六 れ十 ○七 か十七 ●八 た十四 ○九 と十六 ●十 に十四 ○十一 は十二 ●十二 は七 ○十三 た十三 ●十四 た十二 ○十五 れ十三 ●十六 よ十三 ○十七 た十一 ●十八 よ十二 ○十九 れ十一 ●二十 よ七



いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ
一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

日報俳壇

◎酒幕吟社詠草（新綠） 黃海

茂り
層塔の茂りに高き背山哉 逸星
郵便局の旗尺見ゆる茂り哉 竹風
銀杏空に茂りて暗き御堂哉 靜月
挽歌幽かに聞ゆる丘の茂り哉 香仙
町の茂り灯影縱横に交る電車哉 春草
筋違に虹が懸るや高茂り 同
潮白う押し寄る嶋の茂り哉 同
頌德碑樹てる門の茂り哉 同
燈臺の焯く島の茂りかな 同
潮に面す守備の屯や茂り山 同
瀑布へす瀧の上なる茂り哉 同

若葉
喧しき鵲の子や柿若葉 不可人
トンネルを出て、明るき若葉哉 竹風
芍藥の殘る一花や庭若葉 逸明
學校の白壁見ゆる若葉哉 湖劍
駐在所の附子戶光る若葉哉 香仙
教會の丘の若葉に夕日哉 同
噴水に電燈映ゆる若葉哉 春草
鮮人の祀る大樹の若葉哉 同
濠の水も影織る城の若葉哉 同
夕鳴く鷺鳥の群や土手若葉 同
シグナルが瞬く驛の若葉哉 同

青嵐
蝉鳴らす付馬の鞭や青嵐 不可人
丘の樹に太き西日や青嵐 香仙
貯水池のポプラ堤や青嵐 春草

□柳虎耳令弟
身は無常瀞花草木に見ゆらん 大塊
夏雲のちぎれて西に淡き山 鳥兎
密雲の低く閉るや五月雨 椎城
雲の峰遊べ大海原を守り給れ 句平
蓮の白きは家に遠けれ 不老郎
白い家夏雨草むら 披柳
白扇ふと落つる已に[illegible] 浮芥
海に活き海に還りて魂涼し 靜軒

讀者の領分

▲私は在留地勤務の者ですが諸官廳召集閲點呼參會致しますが[illegible]して五十餘日經過の今日に至るも許可に成りませんが私の戰友に聞て見ると何れも往復はがき等で照會して一方ならぬ心配をしたとのことですが聯隊區司令部は在郷軍人に對して今少し御親切な取扱して下されたなれば在郷軍人の私共は有難い事と思ひます（許可待兵士）▲昨紙某司法官の談として照答に關する能事は時節柄結構なり近來の民思想に對しては[illegible]の要あり人間る以上禮義的照答は必要の場合あるべし服務規則の下にある人でも低廉なる土產物の贈答位は人情の麗はしきところもあるが態々高價なるものを上役に提供するが如きは公人生活者に於ては私交なりとするも公人關係よりの私交は凡人は公私の辨別能力不充分にて兎角の弊に陷り易きは屢々目睹するところ是一種の瀆職罪たるを免れず世の贈答家たるもの反省一番せよ（不劉）▲若き山新歸り君に答ふ夫は塗擦法の宜しきを得ざる爲めなので假令良藥でも一回にこてこてと塗つた日には殘さんでも宜い斑痕を留めるし又習にも依るものですから年老婆心孫め余の拙言を用ひ御注意なさいまし丁度ハイカラ美人が顏に白粉をべたべたと塗つたのと間違へては甚だ當人閣顧も迷惑します次に患部たる面皰栓を壓出し後稍く僅かな藥をその上に塗抹し更に加里石鹼精でさつと洗滌すれば宜しいのですよ（逆香生）▲南大門通りの馬車撒水は非常に結構ですが日中熱い時又は風の吹き荒ぶこりの有る折には撒水朝夕涼しき折又は盛夏に撒水をされるのは撒水の目的に反して居りはせぬかと愚考致します（南大門內生）▲僕は朝鮮郵船會社の海員を希望する少年ですが京城市內に世話をして下さる方は在りませんか又其の周旋料は何程差上ましたら宜しうございますか（海の子）▲近頃傳染病流行するに就て各自衛生に注意すべしとは當局から各町內總代への御達示ださうであるが此邱の樣に便所や塵芥箱がつかへてゐては不潔になりがちでおまけにいつまでたつても取りにこないこれで衛生ぢや傳染病豫防ぢやのといただくところが無益ではありますまいかあて衛生係の人々の一考を煩し度く存じます（附近總代）▲ほうし樣へ度々御厚情を謝します二三日待つて下さい私の住所も定まりますから（熊北エス）

牛乳 御用 陸軍病院 京城府東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

皮膚科 專門 外科 京城太平通二丁目 扇田醫院 電話二二五八番

胃弱家の聲！ 數ある胃病藥の中で 胃活は鷄群の一鶴として世人の信用を集めて居る

夏の胃弱家

夏の氣候は自然と人の胃を弱らし、筋肉が弛んで、兎角食物が進まず、身體が倦怠なる、隨て夏に水アタリ、下痢病等が多いのですから、夏の家庭藥として、五大軍醫の合議製藥、帖佐醫學博士の賞贊せる胃活を常用あれ

胃病良藥

定價 十錢 三十錢 五十錢 一圓
胃活錠 二十錢 五十錢 一圓 二圓

胃活定價の改定

歐洲戰亂以來、胃活の原料藥は、高くなる一方で、今日迄條へ來ましたが、益原料を吟味して、需要者諸君に滿足を與へようとすれば、定價を引上げねばならぬ事になつたのです、不得止、廿年目に、左の通定價を改定しました、事情を御諒察せられ・不相變御愛用を願ひます

●胃活は五大軍醫の合議製藥也
胃活は容量少くも効能大也

本舖 東京本銀三 本局一〇九七番 山田安民藥房
發賣元 大阪南久寶寺 南二二〇八番 山田安民藥房
●全國各藥店にあり

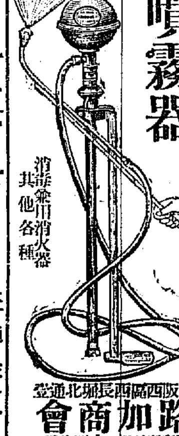
夏洋服（上下二枚 折襟詰襟 制服同值） 送料 鮮內二十四錢 外五十錢
ヘイヤクロス（品切）
斜子本リンネル 白及ビ薄茶
シュランク 白及ビ薄茶
白パナマ地
ラミー麻（白及ビ薄茶）
白綿リンネル
金拾七圓五拾錢也 金拾六圓五拾錢也 金拾六圓八拾錢也 金拾五圓八拾錢也 金拾參圓五拾錢也 金拾貳圓五拾錢也 金拾貳圓五拾錢也 金九圓貳拾錢也 金七圓八拾錢也 金七圓參拾錢也 金六圓五拾錢也
▲地方は御申越次第見本帖と寸法取圖解送付可申候
京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

產科 婦人科 醫學士 二宮亮吉 京城壽町 電話一〇二一番 二宮醫院

醇良無双清酒 衛生無害品質無双

發賣元 京城府黃金町二丁目 首藤京城支店 長電話一一七一番
釜山港幸町 首藤釜山支店 長電話三四三番

田中丸病院 京城西小門町二一番地 院長 醫學士 田中丸治平 副院長 醫師 上野和夫 電話八八五番
【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり

路加式 噴霧器 消毒藥用消火器 其他各種

大阪西區西長堀北通 路加商會 電話新町一六四八番

外科 皮膚科 內科 花柳病 小兒科 入院隨意 診察夜九時迄 院長 正六位勳四等功五級 島崎龍一
京城旭町一丁目 本町通り左に入る 電話二七三六番 島崎病院

大日本優等清酒 ハクツル 品質純良 衛生無害

攝津灘御影町 釀造元 嘉納合名會社
京城本町二丁目廿番地 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

資本金六百萬圓 株式會社 十八銀行京城支店 京城黃金町 電話四二〇、五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目電話一八番
弊行ハ各樞要ノ地ニ爲替取引店有之諸預金貸付其他送金荷爲替代金取立等銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候間多少ニ拘ラズ御取引願上候●右ノ外株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

公告
金城地方金融組合登記事項中左ノ通リ變更ス
一理事古賀勳ハ辭任シ大正七年六月廿五日左記ノ者任命就任ス
江原道金化郡金化面邑內里六百七十番地 土橋貞次
右大正七年七月拾壹日登記
京城地方法院金化出張所

京城本町二丁目 川合時計店 電話一九一八 振替京城一二二九

最新刊
署名 著者 定價
中外情勢研究會 ◎世界各國の研究 定價一圓二十錢
紡績業の將來 下野遠之助 一、五〇
獨乙文法辭典 片山正雄 二、八〇
史話と文話 萩野由之 一、八〇
◎鮮語階梯 朝鮮總督府編 定價十六錢
遊蕩兒の害方 齊藤進堂 七五
基督教新論 海老名彈正 一、七〇
支那漫遊記 德富猪一郎 二、五〇
闘碁 布陣挑戰法 田川熊三郎著 定價一圓二十錢也
[illegible] 春 德富猪一郎 一、六〇
[illegible] 我帝國の前途 村井[illegible] 一、〇〇
鐵道院編 鐵道旅行案內 定價一圓五十錢
京城本町 大阪屋號 電話六八四番 二〇八六番 振替京城二五七三番

京城龍山等各地に僞物有御注意
●りん病ばい毒 ◎にせドラッグあり御注意

近來東京其他各地に僞のドラッグ有り販賣せられざる樣御用心あれ當京城にはドラッグ商會と稱する店は他にあらばそは全く商號を盜用する奸商なり
本舖大阪 ドラッグ商會 京城南大門外停車場通 花柳病專門藥房 ドラッグ商會 電話二五六七番 振替京城四六七番
京城黃金町三電車通 龍山糾兵塊前停留所 同 大阪ドラッグ商會支店

日本郵船仁川出帆
◎大連、天津行 相模丸 七月十九日 酒田丸 七月十一日 ×高砂丸 七月廿九日（船客御斷）
仁川海岸町二丁目（電話十番） 堀回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
大連直行（關東都督府命令船） 一廿共同丸 七月十二日 後入港 七月十三日 前出港
朝鮮鐵道主要驛にて預け荷物の連絡取扱
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店 本町四丁目（電話二七三番） 野口商會
元山代理店 田口回漕店
京城取次店 河村運送店

釜山出帆廣告
◎元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 七月[illegible]日後四時出
◎門司、宇品、神戶、大阪行 第二琴平丸 七月十五日後四時出
◎佐須奈、嚴原、博多行 大眞丸 七月十四日午後十時出
釜山港埋立新町 大池回漕部

大阪商船出帆
神戶、大阪行（仁川出帆）友康丸 七月廿五日 後五時出
群山大阪行 ×安東丸 七月十三日 正午出
●淸津行（元山出帆）平安丸 七月十三日 後十一時
●釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 安平丸 七月十九日 後九時出
●上海、基隆、打狗行（大連出帆）湖北丸 八月十二日 前六時出 基隆丸 七月廿四日 後四時出

尼崎汽船出帆
仁川 京城 群山、木浦、釜山、下關、大阪行 第一太湖丸 大君が代丸 有丸 七月十七日 後四時出 七月廿二日 後四時出
仁川海岸通三丁目（電話五九番） 高杉回漕部

御注意
歐洲行 南米洲行 北米洲行 濠洲行 孟買行 南洋行 一年四回 毎月二回 毎月一回 毎月一回 毎月二回
內地各港出帆上要航路

朝鮮郵船出帆
●浦汐行 大阪發門司釜山元山城津經由 七月十四日
●雄基行 關門發釜山各港經由 七月十五日 七月十七日
越後丸 七月十七日 七月十五日 元山發 釜山發
平壤丸 七月十五日 元山發 淸津經由
●雄基丸 七月十四日 釜山發
●元山雄基線 元山迎日各港經由往復 鏡城丸 七月十五日 元山發
●大阪行 神戶經由 釜山浦項城津元山釜山關門 山陽丸 七月十四日 元山發 七月 日 釜山發
●金剛山遊覽便 元山發長箭長浦經由 六月至十月五ケ月間 鏡城丸 七月十二日 元山發
●濟州島行 釜山發浦項及各港經由 咸德丸 七月十七日 釜山發
●濟州島行 釜山長承浦麗水巨文島經由 昌平丸 七月十六日 釜山發
江陵丸 襄陽丸 每日 釜山浦港發
●釜山浦項線 甘浦長生浦 方魚津 九
●濟州島行 東廻八所安島經由 西廻八島莞島孖子島經由 慶興丸 公州丸 七月十六日 七月十九日 木浦發
●釜山麗水線 海州丸 巨濟丸 統營丸 每日 釜山發 麗水發
●木浦麗水線 順天丸 七月十三日 木浦發（以下三日目每ニ木浦發）
●多島海行 木浦發多島海各島行 公州丸 七月十四日 木浦發
●木浦行 仁川發各地經由 慶尙丸 七月 日 仁川發
●海州行 仁川發江華島喬桐島經由 南陽丸 新江丸 每日一回 仁川海州發
●海南浦行 仁川發各港經由 晉州丸 七月十八日 仁川發
●靑島行 仁川發各港經由 江原丸 七月十三日 仁川發
朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡運送ノ便有
本社 京城南大門通 電話一九五、二二三、三二二
釜山 佐藤町 釜山支店
元山港 海岸通 元山出張所
仁川港 代理店 堀回漕部
木浦港 代理店 野回漕部
京城荷客取扱店 京城南大門驛前 松原運送店 電話長二七〇番
其他各寄港地に荷客取扱店あり